

# お知らせ

第 65 回日本卵子学会学術集会を開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

## ■大会の形式■

本学術集会は現地会場開催をメインに、いくつかのセッションを会場収録し後日オンデマンド配信いたします。  
※ライブ配信は、おこないません。

- 現地開催：2024年5月18日（土）～5月19日（日）
- Web開催（オンデマンド配信①）：2024年5月24日（金）10:00～5月31日（金）10:00【単位付与期間】
- Web開催（オンデマンド配信②）：2024年5月31日（金）10:00～6月30日（日）18:00【視聴のみ期間】

## ■ご参加の方へ■

### 1. 参加費

|        |          |                |
|--------|----------|----------------|
| 会 員：   | 10,000 円 | 不課税            |
| 非会員：   | 12,000 円 | 課税 / 消費税 10% 込 |
| 学 生：   | 5,000 円  | 課税 / 消費税 10% 込 |
| 研究交流会： | 5,000 円  | 課税 / 消費税 10% 込 |

- ・参加受付は、すべてオンライン参加登録制とさせていただきます。
- ・第 65 回大会ホームページより、オンライン参加登録・決済を完了してください。
- ・当日、会場での参加登録（参加費支払い）はできません。
- ・参加登録完了後、自動送信メールをお送りします。メールが届いていない場合は、ホームページよりお問合せください。
- ・決済完了後の返金はいたしませんので、ご了承ください。
- ・現地参加の方は、Web 参加（後日オンデマンド配信）も可能です。
- ・現地参加の方は、参加登録後に送信されるメールに記載の QR コード（参加章引換券）を印刷もしくはスマートフォン等にダウンロードして、当日会場にお持ちください。

### 2. 学会参加章引き換えデスク受付時間（1F ロビー）

2024年5月18日（土） 8:30～17:00

2024年5月19日（日） 8:30～15:00

### 3. クローク受付時間（B1F リハーサル室）

2024年5月18日（土） 8:30～17:00

2024年5月19日（日） 8:30～15:00

### 4. 参加章について

会場（学術集会・研究交流会）では必ず参加章をご着用ください。

### 5. ランチョンセミナーについて

チケット制ではございません。直接各会場へお越しください。

※お弁当の配布は先着順となります。数に限りがございますので行き渡らない場合はご容赦願います。

### 6. 研究交流会について

日時：2024年5月18日（土）18:00～20:00

会場：水族館「átoa（アトア）」 〒650-0041 兵庫県神戸市中央区新港町 7-2 TEL 078-771-9393

参加費：5,000 円（課税 / 消費税 10% 込）

当日のお申込み、参加費お支払いはお受けできませんので、必ずオンライン参加登録時に登録・決済をしてください。

第 65 回大会ホームページ

<http://jsor65.umin.jp/>



## ■座長の方へ■

時間通りの進行をお願いいたします。ご担当されるセッション開始時間の10分前までに、会場内前方の「次座長席」にご着席ください。

## ■口演発表者の方へ■

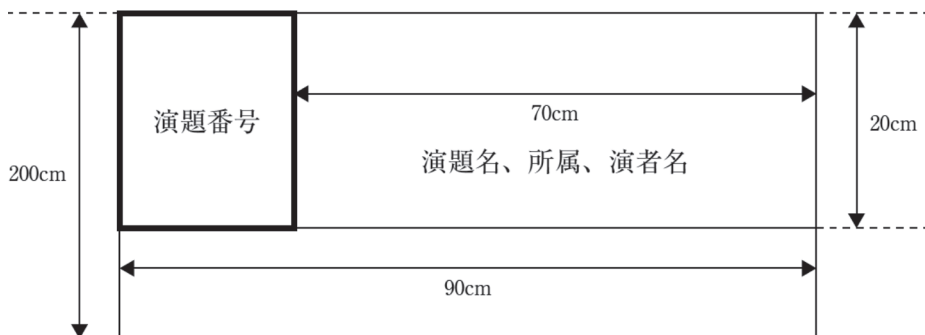
1. 今回、オンデマンド配信用に当日講演収録（スライドと音声）をおこないます。収録対象セッションは別ページの日程表で確認してください。学会参加章引き換え後、ご発表セッション開始予定時刻の30分前までにPC受付をおこない、20分前までに会場内前方の「次演者席」にご着席ください。PC持ち込みの方も、30分前までにPC受付へお越しください。
2. PC受付時間（B1Fロビー）  
2024年5月18日（土） 8:30～17:00  
2024年5月19日（日） 8:30～15:00
3. 発表時間  
優秀演題賞候補，一般演題：発表7分，討論3分，指定演題は運営事務局より個別にご連絡いたします。
4. 発表方法に関しまして
  - ① 発表形式はPC発表です。
  - ② 発表データは、原則16：9サイズでご作成ください（4：3サイズも映写可能です）。
  - ③ 会場へは、USBメモリ、パソコン本体のいずれかの形で発表データをお持ち込みください。
  - ④ パワーポイントの「発表者ツール」機能は使用できません。
  - ⑤ PC受付のパソコンは台数が限られております。受付パソコンを独占しての長時間データ修正はご遠慮ください。学会場ではレイアウト修正のみとし、データ修正等は事前に済ませてからPC受付へお越しください。
- USBメモリをお持ち込みの方への注意事項
  - ① ソフトは、以下のものをご使用ください。  
Microsoft PowerPoint  
※ Macをご使用の方は、PCをお持ち込みください。  
※ 動画ファイルをご使用の方もPCをお持ち込みください。
  - ② フォントはOS標準のもののみご使用ください。
- ノートPCをお持ち込みの方への注意事項
  - ① バックアップとして必ずメディア（USBメモリ）もお持ち込みください。
  - ② PC受付の液晶モニターに接続して映像の出力チェックをおこなってください。
  - ③ PCの機種やOSによって、出力設定方法が異なります。
  - ④ プロジェクターとの接続ケーブルは、HDMIです。
  - ⑤ PCによっては専用のコネクタが必要になりますので、必ずお持ちください。VAIO、MacBook等小型PCは、別途付属コネクタが必要な場合がありますので、くれぐれもご注意ください。
  - ⑥ スクリーンセーバー、省電力設定は事前に解除をお願いいたします。
  - ⑦ コンセント用電源アダプタを必ずお持ち込みください。内蔵バッテリー駆動ですとご発表中に映像が切れる恐れがあります。
5. 演題発表時の利益相反状態開示方法について  
学術講演会における演題発表時の利益相反状態開示方法については、学会ホームページをご覧ください。

## ■ポスター発表者の方へ■

### 1. ポスター発表スケジュール

|          | ポスター掲示     | ポスター閲覧      | ポスター撤去      |
|----------|------------|-------------|-------------|
| 5月18日(土) | 8:30～10:00 | 10:00～17:00 |             |
| 5月19日(日) |            | 9:00～15:00  | 15:00～16:30 |

### 2. ポスター作成要領



- ① ポスター受付はありません。掲示時間内（5月18日（土）8:30～10:00）にご自身の演題番号パネルに掲示してください。
- ② パネルの有効部分は、縦200cm×横90cmです。演題名・所属・演者名は、縦20cm×横70cmの枠内におさめてください（上図参照）。
- ③ 演題番号は事務局で用意いたします。パネルへの掲示固定には会場に用意した画鋏をご使用ください。
- ④ 撤去時間（5月19日（日）15:00～16:30）内に撤去されないポスターは処分します。処分ご希望の方も必ずポスターをパネルから外し、付近の床にまとめておいてください。

### 3. 利益相反状態の開示について

発表時には、利益相反状態の開示をお願いします。利益相反の有無を、ポスター掲示にて開示して下さい（第65回大会ホームページにサンプルデータを掲載しています）。

## ■胚培養士・倫理講習会について■

現地参加あるいはオンデマンド（録画）配信の視聴により受講いただけます。

現地開催の倫理講習会は、5月19日（日）9:00～10:00に第1会場で実施いたします。なお、この講演は一般の参加者（受講証を必要としない方）も聴講されることをご承知おきください。

講師：前田 恵理（北海道大学大学院医学研究院社会医学分野 公衆衛生学教室）

タイトル：「不妊症の有病率に関する疫学研究」

講師：水野 紀子（白鷗大学 法学部）

タイトル：「包括的生殖補助医療法の制定をめざして」

入退室時に参加章に添付されたQRコードを提示いただき、時刻等を記録します。遅刻、早退等が確認された場合、受講証は発行されません。倫理講習会の受講証発行対象は、資格保有者のみとなります。規程に記載のとおり生殖補助医療胚培養士認定後あるいは更新後の受講が必須のため、2024年度合格見込みの方は発行対象とはなりません。受講証は後日、日本卵子学会事務局からオンライン参加登録ページで入力した送付先住所へ郵送されます。

オンデマンド参加については以下のことにご注意ください。

- ・視聴ページ入口に【推奨視聴環境】が掲載されておりますので、必ず事前にご確認ください。

## ■単位について■

本学術集會に現地参加もしくはオンデマンド配信①の視聴期間中にログインすることにより、下記の資格の単位を取得することができます。

- ・ 日本生殖医学会生殖医療専門医ポイント：5点
- ・ 日本専門医機構単位：3単位
- ・ 日本産婦人科医会研修参加証（シール）：1枚

※学会終了後、シール郵送を行います。オンライン参加登録時に必要情報をご登録ください。

### 〈現地参加の方〉

- ・ 参加章に印字されたQRコードで登録をおこないます。
- ・ 日本専門医機構の認定講習は、各講習会場で対象セッション開始前に受付をいたします。開始時間10分を過ぎた場合、聴講は可能ですが、日本専門医機構単位は付与されませんのでご了承ください。また、原則途中退出は認められません。

### 〈Web参加の方〉

- オンデマンド配信①：2024年5月24日（金）10:00～5月31日（金）10:00【単位付与期間】
- ・ 単位付与期間内にWeb視聴した場合に、単位取得が可能となります。
- ・ 日本専門医機構単位が必要な方は、上記オンデマンド配信①の視聴期間内にオンライン参加登録、Web視聴の両方を必ずお済ませください。
- ・ 対象セッションを最初から最後まで視聴していただくと、単位が付与されます。

### 〈対象セッション〉

| 日時  | セッション名    | 演題名                       | 取得単位         |
|---|-----------|---------------------------|--------------|
| 現地開催：5月18日（土）<br>10:10～11:10<br>Web視聴：5月24日（金）10:00<br>～5月31日（金）10:00 | 特別講演<br>1 | 卵の核成熟と細胞質成熟を誘導する顆粒膜細胞分泌因子 | 産婦人科<br>領域講習 |
| 現地開催：5月18日（土）<br>11:20～12:20<br>Web視聴：5月24日（金）10:00<br>～5月31日（金）10:00 | 教育講演      | 免疫性不妊症診療の最前線              | 産婦人科<br>領域講習 |
| 現地開催：5月19日（日）<br>10:10～11:10<br>Web視聴：5月24日（金）10:00<br>～5月31日（金）10:00 | 特別講演<br>2 | 卵巣機能不全の克服を目指した基礎から臨床研究    | 産婦人科<br>領域講習 |

## ■理事会、総会、編集委員会、各種表彰式■

理事会：2024年5月17日（金）15:30～17:30 神戸ポートピアホテル 本館B1F「布引・北野」

第1回学術委員会：2024年5月18日（土）8:00～9:00 神戸国際会議場 4F「407」

編集委員会：2024年5月19日（日）8:00～9:00 神戸国際会議場 4F「407」

総会：2024年5月19日（日）11:20～11:30 神戸国際会議場 1F「第1会場（メインホール）」

\*各種表彰式は、総会の中でおこないます。

## ■日本卵子学会年会費■

年会費（2024年度分）が未納の方は、日本卵子学会ホームページの会員専用ページにログイン後、クレジットカード決済を行うか、下記口座までお振込みください。

ゆうちょ銀行 〇一九店（ゼロイチキューテン）  
当座預金 790520 一般社団法人日本卵子学会

日本卵子学会ホームページ  
<https://jsor.or.jp/>



## ■撮影・録音について■

講演会場内での撮影・録音は、学会側が認めた場合以外、禁止となります。

Web 視聴ページ内の写真・スライド・映像・音声の著作権は、著作者・団体に帰属します。画面の録画、静止画記録、録音での保存や転載は固く禁止いたします。

## ■オンデマンド配信用の収録について■

現地開催当日に、一部のプログラムについてはオンデマンド配信用の収録を行います。質疑なども収録されますので、予めご了承のほどお願いいたします。

## ■プログラム所属表記について■

統一表記で記載しておりますことをご了承ください。

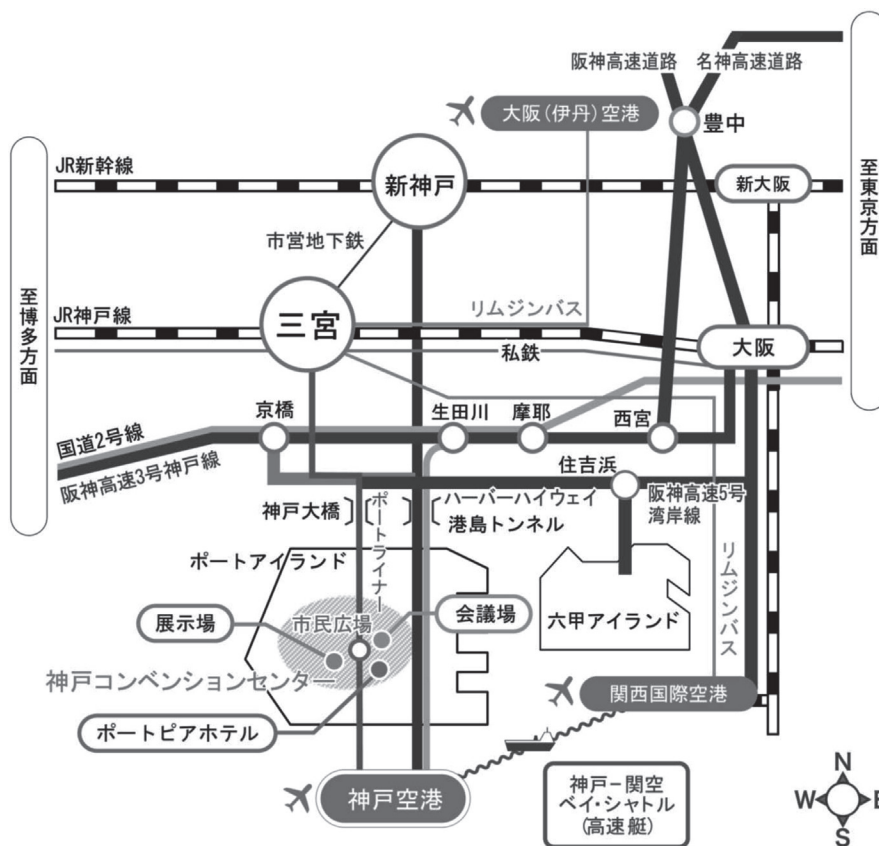
# 会場への交通案内

## 神戸国際会議場

(神戸コンベンションセンター内)

〒 650-0046 神戸市中央区港島中町 6 丁目 9-1

TEL : 078-302-5200 FAX : 078-302-6485



### 新幹線でお越しの場合

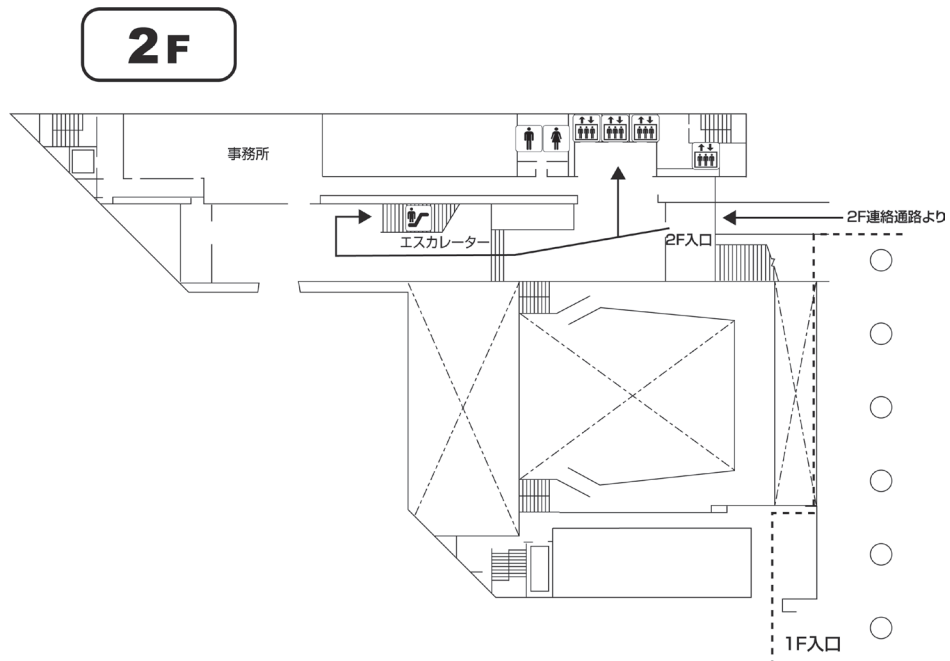
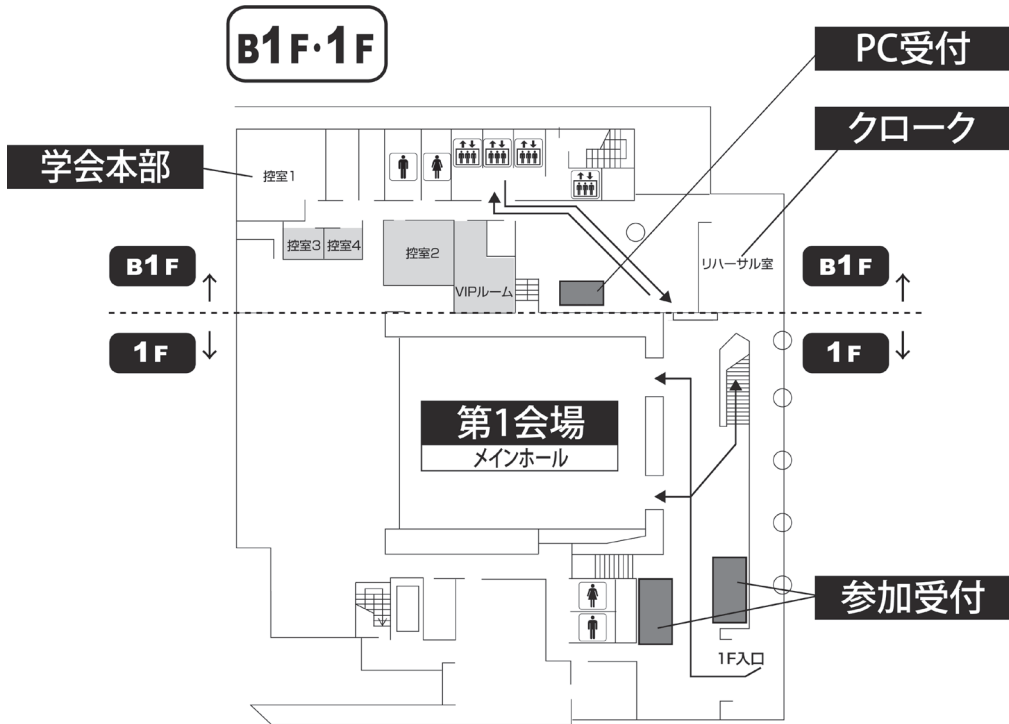


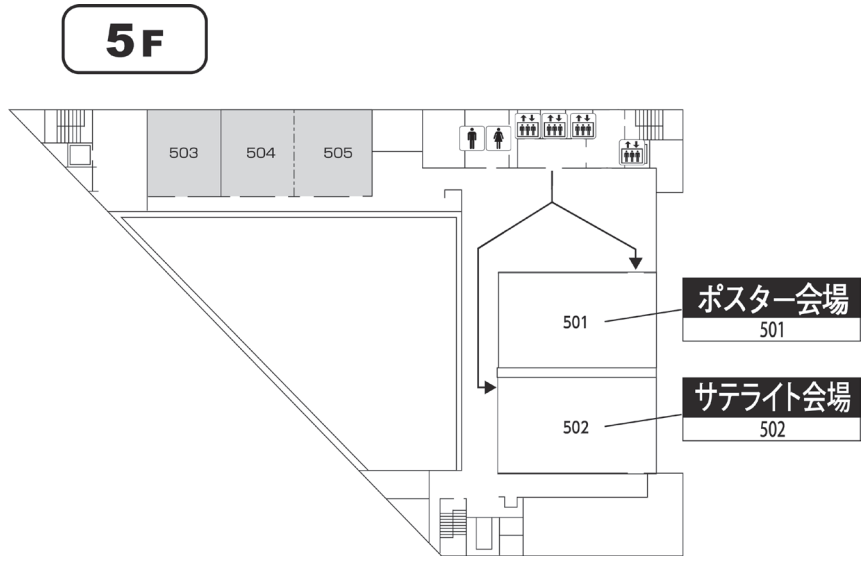
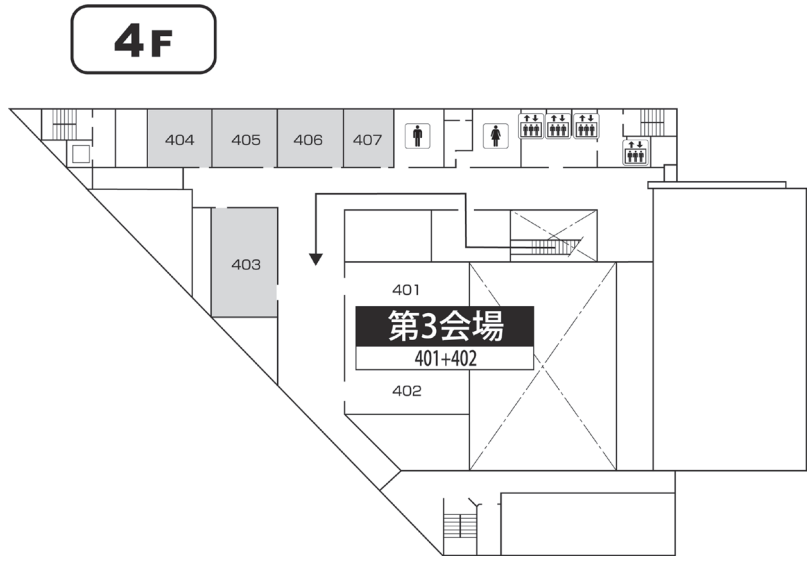
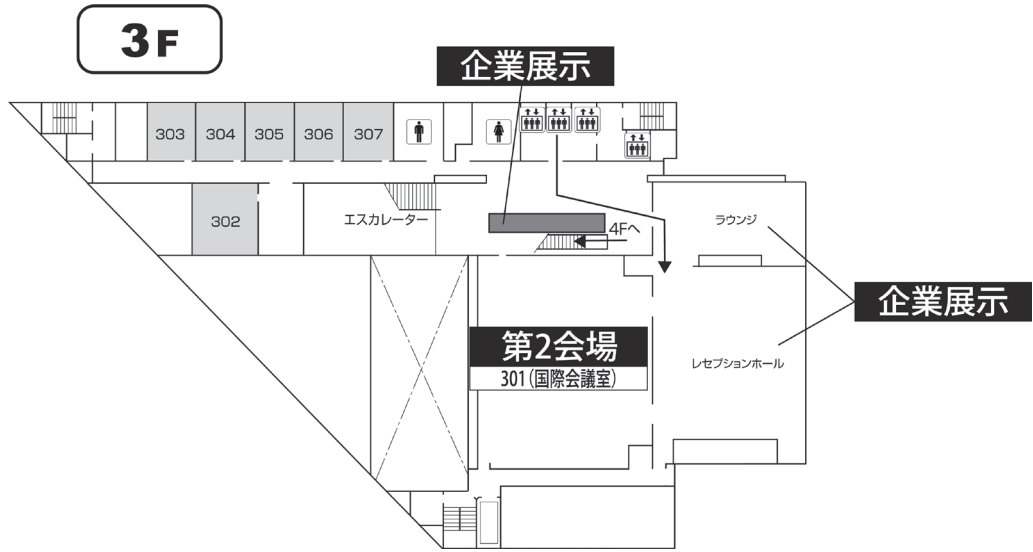
### 車でお越しの場合



# 会場案内図

神戸国際会議場







# 日 程 表

5月18日(土)(1日目)

| 神戸国際会議場  |  |   |                |                           |  |  |
|--|--|---|----------------|---------------------------|--|--|
| 第1会場<br>1F メインホール  | 第2会場<br>3F 国際会議室 301   | 第3会場<br>4F 401+402  | ポスター<br>5F 501 | 委員会<br>4F 407             |  |  |
| 8:30 ~ 受付  |  |   | 8:30-10:00     | 8:00-9:00<br>第1回<br>学術委員会 |  |  |
| 8:55-9:00 開会の辞   |  |   | ポスター<br>掲示     |                           |  |  |
| 9:00-10:00<br>優秀演題賞候補(臨床)<br>H-001 ~ H-006<br>座長: 岩瀬 明   | 9:00-10:00<br>優秀演題賞候補(基礎)<br>H-007 ~ H-012<br>座長: 鈴木 宏志                        | 9:00-10:00<br>一般口演<br>IVG・IVM(基礎)<br>O-031 ~ O-036<br>座長: 大杉 美穂       |                |                           |  |  |
| 10:10-11:10<br>特別講演1<br>「卵の核成熟と細胞質成熟を誘導する<br>顆粒膜細胞分泌因子」<br>座長: 柏崎 直巳<br>演者: 島田 昌之                | 10:10-11:10<br>一般口演<br>卵子活性・ICSI(臨床)<br>O-001 ~ O-006<br>座長: 木村 文則             | 10:10-11:10<br>一般口演<br>受精(基礎)<br>O-037 ~ O-042<br>座長: 尾畑 やよい          | 10:00-17:00    |                           |  |  |
| 11:20-12:20<br>教育講演<br>「免疫性不妊症診療の最前線」<br>座長: 寺田 幸弘<br>演者: 柴原 浩章                                  | 11:20-12:20<br>一般口演<br>卵母細胞・卵子凍結(臨床)<br>O-007 ~ O-012<br>座長: 北島 道夫             | 11:20-12:20<br>一般口演<br>その他(基礎)<br>O-043 ~ O-048<br>座長: 加藤 容子          | ポスター<br>閲覧     |                           |  |  |
| 12:30-13:30<br>ランチョンセミナー1<br>あすか製薬株式会社<br>座長: 吉村 泰典<br>演者: 加藤 恵一<br>森本 義晴                        | 12:30-13:30<br>ランチョンセミナー2<br>メルクバイオファーマ株式会社<br>座長: 見尾 保幸<br>演者: 中川 浩次<br>渡邊 英明 | 12:30-13:30<br>ランチョンセミナー3<br>富士フィルム和光純薬株式会社<br>座長: 福田 愛作<br>演者: 塩谷 仁之 |                |                           |  |  |
| 13:40-14:40<br>シンポジウム1<br>「卵子研究 基礎と臨床」<br>座長: 高井 泰 木村 直子<br>演者: 京極 博久<br>伊藤 潤哉<br>大月 純子          | 13:40-14:40<br>一般口演<br>受精・胚発生(臨床)<br>O-013 ~ O-018<br>座長: 河野 康志                | 13:40-14:40<br>一般口演<br>その他(臨床)1<br>O-049 ~ O-054<br>座長: 鍋田 基生         |                |                           |  |  |
| 14:50-15:50<br>シンポジウム2<br>「不妊原因となる遺伝子異常 基礎と臨床」<br>座長: 山海 直 片桐 由起子<br>演者: 蓮輪 英毅<br>藤原 靖浩<br>倉橋 浩樹 | 14:50-15:50<br>一般口演<br>受精・胚発生(臨床)<br>O-019 ~ O-024<br>座長: 杉山 カー                | 14:50-15:50<br>一般口演<br>その他(臨床)2<br>O-055 ~ O-060<br>座長: 古井 憲司         |                |                           |  |  |
| 16:00-17:00<br>シンポジウム3<br>「男性不妊治療への展望 基礎から臨床へ」<br>座長: 森本 義晴 小川 英彦<br>演者: 篠原 美都<br>佐藤 克哉<br>江夏 徳寿 | 16:00-17:00<br>一般口演<br>PGT(臨床)<br>O-025 ~ O-030<br>座長: 中岡 義晴                   | 16:00-17:00<br>一般口演<br>卵子・接合子・胚(基礎)<br>O-061 ~ O-066<br>座長: 平尾 雄二     |                |                           |  |  |
| 18:00-20:00 研究交流会<br>水族館「átoa(アトア)」  |  |   |                |                           |  |  |

**P**: 日本専門医機構単位対象セッション(産婦人科領域)

**OD**: 後日オンデマンド配信対象セッション(ライブ配信はございません)



# 第 65 回日本卵子学会学術集会 プログラム

## 特別講演 1

5 月 18 日 (土) (1 日目)

10:10–11:10 第 1 会場

座長：柏崎 直巳 (麻布大学 獣医学部 動物繁殖学研究室)

「卵の核成熟と細胞質成熟を誘導する顆粒膜細胞分泌因子」

島田 昌之 (広島大学大学院 統合生命科学研究科)

## 教育講演

5 月 18 日 (土) (1 日目)

11:20–12:20 第 1 会場

座長：寺田 幸弘 (秋田大学大学院医学系研究科 産婦人科学講座)

「不妊症診療の最前線」

柴原 浩章 (兵庫医科大学名誉教授/英ウィメンズクリニック/神戸生殖検査研究所 (KoReL))

## シンポジウム 1

5 月 18 日 (土) (1 日目)

13:40–14:40 第 1 会場

卵子研究 基礎と臨床

座長：高井 泰 (埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科)

木村 直子 (山形大学大学院 農学研究科)

「初期胚の染色体分配異常発生メカニズム」

京極 博久 (神戸大学農学研究科/理化学研究所生命機能科学研究センター)

「哺乳類の卵活性化メカニズム～カルシウム・亜鉛シグナルの役割」

伊藤 潤哉 (麻布大学 獣医学部)

「染色体凝集塊による核置換法 ―臨床応用へ向けて―」

大月 純子 (英ウィメンズクリニック)

## シンポジウム 2

5 月 18 日 (土) (1 日目)

14:50–15:50 第 1 会場

不妊原因となる遺伝子異常 基礎と臨床

座長：山海 直 (医薬基盤・健康・栄養研究所)

片桐 由起子 (東邦大学 産科婦人科学講座)

「母性に発現する少分子 RNA は胚の初期発生に必須である」

蓮輪 英毅 (慶應義塾大学 共同利用研究室 動物実験センター研究室)

「マウスを用いた雄性不妊因子のスクリーニング」

藤原 靖浩 (東京大学 定量生命科学研究科)

「不妊・不育症のゲノム医療を目指して」

倉橋 浩樹 (藤田医科大学 医科学研究センター 分子遺伝学研究部門)

シンポジウム 3

5月18日(土)(1日目)

16:00-17:00 第1会場

男性不妊治療への展望 基礎から臨床へ

座長：森本 義晴 (HORAC グランフロント大阪クリニック)  
小川 英彦 (東京農業大学 生命科学部 バイオサイエンス学科)

「精子幹細胞培養から作製した子孫の行動解析」

篠原 美都 (京都大学 医学研究科)

「ヒト iPS 細胞から Leydig 細胞を作る ～ LOH 症候群に対する再生医療の開発～」

佐藤 克哉 (神戸大学大学院 医学研究科 腎泌尿器科学分野)

「男性不妊診療の現状とこれから」

江夏 徳寿 (英ウィメンズクリニック / 英メンズクリニック)

胚培養士・倫理講習会

5月19日(日)(2日目)

9:00-10:00 第1会場

座長：久慈 直昭 (Noah ART クリニック 武蔵小杉)

「不妊症の有病率に関する疫学研究」

前田 恵理 (北海道大学大学院医学研究院社会医学分野 公衆衛生学教室)

「包括的生殖補助医療法の制定をめざして」

水野 紀子 (白鷗大学 法学部)

特別講演 2

5月19日(日)(2日目)

10:10-11:10 第1会場

座長：高橋 俊文 (福島県立医科大学 ふくしま子ども・女性医療支援センター)

「卵巣機能不全の克服を目指した基礎から臨床研究」

河村 和弘 (順天堂大学大学院医学研究科 産婦人科学講座)

シンポジウム 4

5月19日(日)(2日目)

13:40-15:40 第1会場

胚培養士委員会企画 保険適用から2年

ーラボワークの変化を胚培養士と医師の両方の目線で考える

座長：泊 博幸 (アイブイエフ詠田クリニック)  
家田 祥子 (みなとみらい夢クリニック)

「胚培養士必見！生殖医療ガイドライン」

山田 満稔 (慶應義塾大学 産婦人科学教室)

「AI スコアリングシステムを臨床に活かす」

佐藤 学 (IVF なんばクリニック)

「どうなる PGT-A? PGT-A の今後と課題」

原田 義久 (医療法人絹谷産婦人科)

「保険診療だから大事！着床率アップの秘訣とは？」

福井 淳史 (兵庫医科大学 産科婦人科)

総括：「ラボワークと先進医療」

久慈 直昭 (Noah ART クリニック 武蔵小杉)

ランチョンセミナー 1

5月18日(土)(1日目)

12:30-13:30 第1会場

座長：吉村 泰典 (慶應義塾大学名誉教授)

「難治性不妊に対する加藤レディースクリニックの対応」

加藤 恵一 (加藤レディースクリニック)

「難治性不妊に対する HORAC グランフロント大阪クリニックの対応」

森本 義晴 (HORAC グランフロント大阪クリニック)

共催：あすか製薬株式会社

ランチョンセミナー 2

5月18日(土)(1日目)

12:30-13:30 第2会場

座長：見尾 保幸 (ミオ・ファティリティ・クリニック)

「ARTの卵巣刺激と胚培養について」

中川 浩次 (杉山産婦人科 新宿)

渡邊 英明 (杉山産婦人科 新宿)

共催：メルクバイオフーマ株式会社

ランチョンセミナー 3

5月18日(土)(1日目)

12:30-13:30 第3会場

座長：福田 愛作 (IVF 大阪クリニック)

「IVF ラボワークに変化をもたらすワンステップ胚融解 —従来の4 step から1 step へ—」

塩谷 仁之 (高橋ウイメンズクリニック)

共催：富士フィルム和光純薬株式会社

ランチョンセミナー 4

5月19日(日)(2日目)

12:30-13:30 第1会場

座長：森本 義晴 (HORAC グランフロント大阪クリニック)

平田 統一 (岩手大学 農学部 附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター)

「IVF・ICSI・Vitrification に続く第4の基幹 ART “未成熟卵子の連続 OPU-IVF-ET” 実現の可能性」

水野 里志 (IVF 大阪クリニック)

菅原 紀 (株式会社ノースブル)

共催：株式会社リプロライフ

ランチョンセミナー 5

5月19日(日)(2日目)

12:30-13:30 第2会場

座長：平岡 謙一郎 (亀田 IVF クリニック 幕張)

「当院における培養成績向上への試みについて」

古橋 孝祐 (英ウイメンズクリニック)

共催：株式会社北里コーポレーション

ランチョンセミナー 6

5月19日(日)(2日目)

12:30-13:30 第3会場

座長：柴原 浩章 (英ウイメンズクリニック)

「少子化時代を考える ～いま私たちにできること」

宮西 正憲 (神戸大学大学院医学研究科 造血幹細胞医療創成学部門)

共催：システムロード株式会社

アフタヌーンセミナー 1

5月19日（日）（2日目）

13:40-14:40 第2会場

座長：向田 哲規（広島 HART クリニック）

「初期分割不良を呈する難治性症例に対する透明帯除去術の有用性」

見尾 保幸（ミオ・ファティリティ・クリニック）

「卵巣刺激の歴史とFSHの糖鎖構造」

石原 理（女子栄養大学）

共催：フェリング・ファーマ株式会社

アフタヌーンセミナー 2

5月19日（日）（2日目）

13:40-14:40 第3会場

座長：杉野 法広（山口大学 医学部 産科婦人科学）

「神経細胞の旅のゆくえ —胎児脳科学を究める産婦人科医の挑戦—」

夫 律子（クリフム出生前診断クリニック 胎児診断センター・胎児脳センター）

共催：GEヘルスケア・ジャパン株式会社、有限会社エムエーアイ

優秀演題賞候補(臨床)

座長:岩瀬明(群馬大学産婦人科)

H-001 滑面小胞体凝集塊(sERC)を有する卵子由来胚の胚盤胞移植予後に関する検討

○山崎 浩美・平田 麗・青木 瞳・小郷 真文・花谷 美香・氏平 聖子・田口 可奈・斉藤 寛恵・川原 結貴・川上 典子・青井 陽子・増本 由美・小坂由紀子・寺田さなえ・吉岡奈々子・羽原 俊宏・林 伸旨  
岡山二人クリニック

H-002 ノンメディカル卵子凍結の現状および卵子融解による妊娠成績の検討

○福岡由利子<sup>1</sup>・奥山 紀之<sup>1</sup>・服部 裕充<sup>2,1,3</sup>・吉永 光希<sup>1</sup>・橋本 朋子<sup>1</sup>・京野 廣一<sup>1,2,3</sup>  
<sup>1</sup>京野アートクリニック高輪, <sup>2</sup>京野アートクリニック仙台, <sup>3</sup>京野アートクリニック盛岡

H-003 マイクロ流体技術を用いた精子選別キットのZyMötと従来法による精子調整を行った場合の顕微授精成績比較(多機関共同前向きランダム化比較試験)

○青井 陽子<sup>1</sup>・平田 麗<sup>1</sup>・青木 瞳<sup>1</sup>・小郷 真文<sup>1</sup>・花谷 美香<sup>1</sup>・山崎 浩美<sup>1</sup>・氏平 聖子<sup>1</sup>・田口 可奈<sup>1</sup>・斉藤 寛恵<sup>1</sup>・川原 結貴<sup>1</sup>・川上 典子<sup>1</sup>・増本 由美<sup>1</sup>・小坂由紀子<sup>1</sup>・寺田さなえ<sup>1</sup>・吉岡奈々子<sup>1</sup>・神谷 博文<sup>2</sup>・小山 伸夫<sup>3</sup>・見尾 保幸<sup>4</sup>・吉田 仁秋<sup>5</sup>・羽原 俊宏<sup>1</sup>・林 伸旨<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>岡山二人クリニック, <sup>2</sup>神谷レディースクリニック, <sup>3</sup>ART女性クリニック,  
<sup>4</sup>ミオ・ファティリティ・クリニック, <sup>5</sup>仙台ARTクリニック

H-004 胚質向上を目的とした新しいICSI法の開発に向けて—精子先体除去法の確立—

○大浦 朝美<sup>1</sup>・佐藤 学<sup>1,2</sup>・中野 達也<sup>1</sup>・内堀 翔<sup>1</sup>・柴田美智子<sup>1</sup>・中岡 義晴<sup>1</sup>・森本 義晴<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>医療法人三慧会 IVF なんばクリニック, <sup>2</sup>医療法人三慧会 HORAC グランフロント大阪クリニック

H-005 媒精方法と女性年齢が2.1PN胚の出現に及ぼす影響

○池田 千秋・羽田 涼穂・松尾爽好理・吉田 浩人・福嶋 文吉・伴 政明・鈴木 啓介・山本 篤・波羅友里恵・小松 保則  
六本木レディースクリニック

H-006 1PN胚の2倍体胚判別における胚盤胞発生速度の有用性

○辻 暖永<sup>1,2</sup>・野老美紀子<sup>1,2</sup>・福永 憲隆<sup>1,2</sup>・浅田 義正<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>医療法人浅田レディースクリニック, <sup>2</sup>浅田生殖医療研究所

## 優秀演題賞候補(基礎)

座長:鈴木宏志(帯広畜産大学 名誉教授)

H-007 ヒト胚第一体細胞分裂では紡錘体形成が不安定であり, その形状は2細胞期の核形態と強く関連する

○小野有紀<sup>1</sup>・白澤弘光<sup>1</sup>・高橋和政<sup>1</sup>・岩澤卓也<sup>1</sup>・浅田義正<sup>2</sup>・福永憲隆<sup>2</sup>・熊澤由紀代<sup>1</sup>・寺田幸弘<sup>1</sup><sup>1</sup>秋田大学, <sup>2</sup>浅田レディースクリニック

H-008 HSF5 plays an essential role in transcriptional regulation at the mid-late pachytene stage transition in male meiotic prophase I

○吉村早織<sup>1,2</sup>・島田龍輝<sup>1</sup>・菊池浩二<sup>1</sup>・阿部洋典<sup>1</sup>・荒木喜美<sup>3</sup>・石黒啓一郎<sup>1</sup><sup>1</sup>熊本大学発生医学研究所, <sup>2</sup>熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学講座,<sup>3</sup>熊本大学生命資源研究センター

H-009 国際宇宙ステーションの微小重力環境下でもマウス初期胚は発生できるか

○若山清香<sup>1</sup>・菊池康之<sup>2</sup>・副島摩利子<sup>2</sup>・林えりか<sup>2</sup>・牛込夏樹<sup>2</sup>・山崎千秋<sup>3</sup>・鈴木智美<sup>3</sup>・嶋津徹<sup>4</sup>・山盛徹<sup>4</sup>・長田郁子<sup>5</sup>・佐野博美<sup>5</sup>・梅原真澄<sup>6</sup>・長谷川歩<sup>8</sup>・持田慶司<sup>8</sup>・陽力<sup>2</sup>・江村里奈<sup>2</sup>・風間晃輔<sup>2</sup>・今瀬健太<sup>2</sup>・黒川祐菜<sup>2</sup>・佐藤吉真<sup>2</sup>・東端晃<sup>3</sup>・松成ひとみ<sup>7</sup>・長嶋比呂志<sup>7</sup>・小倉淳郎<sup>8</sup>・幸田尚<sup>2</sup>・若山照彦<sup>1</sup><sup>1</sup>山梨大学 発生工学研究センター, <sup>2</sup>山梨大学大学院 生命環境学域, <sup>3</sup>JAXA,<sup>4</sup>日本宇宙フォーラム, <sup>5</sup>JAMSS, <sup>6</sup>AES, <sup>7</sup>明治大学, <sup>8</sup>理研 BRC

H-010 固定染色した卵巣切片からの高精度単一細胞トランスクリプトーム解析の実現と組織学的情報との統合的解析

○池田宏輝<sup>1</sup>・宮尾晋太郎<sup>1</sup>・高島友弥<sup>1</sup>・長岡創<sup>1</sup>・羅斯明<sup>1</sup>・山本拓也<sup>2,4,3</sup>・栗本一基<sup>1,5</sup><sup>1</sup>奈良県立医科大学, <sup>2</sup>京都大学 iPS 細胞研究所, <sup>3</sup>京都大学ヒト生物学高等研究拠点,<sup>4</sup>理研革新知能統合研究センター・iPS 細胞連携医学的リスク回避チーム,<sup>5</sup>奈良県立医科大学・先端医学研究機構

H-011 カニクイザル子宮内膜構造の試験管内再構成

○松本翔馬<sup>1</sup>・小原実穂<sup>2</sup>・山海直<sup>2</sup>・依馬正次<sup>1</sup><sup>1</sup>滋賀医科大学 動物生命科学研究センター 幹細胞・ヒト疾患モデル研究分野,<sup>2</sup>医薬基盤・健康・栄養研究所 霊長類医学研究センター

H-012 卵巣における脂肪滴結合タンパク質 Perilipin の発現と生理機能に関する研究

○塚本智史

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構



## 卵子活性・ICSI(臨床)

座長：木村 文則(奈良県立医科大学産婦人科学講座)

## O-001 人為的卵子活性化により出生した児の安全性調査

○宮崎康太郎<sup>1</sup>・山田満穂<sup>1</sup>・宇津野宏樹<sup>1</sup>・佐久間萌子<sup>1</sup>・松沢優一<sup>1</sup>・大岡令奈<sup>1</sup>・福岡美桜<sup>1</sup>・上條慎太郎<sup>1</sup>・田中守<sup>1</sup>・左勝則<sup>2</sup>・廣田泰<sup>3</sup>・大須賀穰<sup>3</sup>・久慈直昭<sup>4</sup><sup>1</sup>慶應義塾大学医学部産婦人科学教室, <sup>2</sup>自治医科大学,  
<sup>3</sup>東京大学大学院医学系研究科産婦人科学講座, <sup>4</sup>東京医科大学

## O-002 長期不妊高齢夫婦の精子DNA断片化に着目してIMSIとタイムラプス胚培養により速やかに生児獲得に至った低AMH症例

○古井憲作<sup>1,2</sup>・安藤寿夫<sup>1,3</sup>・梅村周平<sup>1,2</sup>・菅沼寛明<sup>1,2</sup>・小椋正人<sup>1,2</sup>・古井達人<sup>1,2</sup>・鈴木邦昭<sup>1,2</sup>・山田友梨花<sup>1,2</sup>・甲木聡<sup>1,2</sup>・寺島康弘<sup>4</sup><sup>1</sup>豊橋市民病院総合生殖医療センター, <sup>2</sup>豊橋市民病院産婦人科,  
<sup>3</sup>豊橋市民病院産婦人科(生殖医療), <sup>4</sup>豊橋市民病院泌尿器科

## O-003 ピエゾICSIの精子注入部位(卵子の奥と中心)は1PNの発生率に影響する

○平岡謙一郎<sup>1</sup>・内田のぞみ<sup>1</sup>・中條隼大<sup>1</sup>・佐藤萌<sup>1</sup>・大杉幹<sup>1</sup>・筋野徒志雄<sup>1</sup>・小宮顕<sup>1,2</sup>・勝又翔子<sup>1</sup>・高柳裕子<sup>1</sup>・名古ゆり恵<sup>1</sup>・田島麻記子<sup>1</sup>・川井清考<sup>1,2,3</sup><sup>1</sup>亀田IVFクリニック幕張, <sup>2</sup>亀田総合病院, <sup>3</sup>東京医科歯科大学

## O-004 ピエゾICSIの精子注入向き(頭部注入vs尾部注入)をどちらで指導する?:ICSI未経験者での検討

○平岡謙一郎<sup>1,2,3</sup>・内田のぞみ<sup>1</sup>・中條隼大<sup>1</sup>・佐藤萌<sup>1</sup>・大杉幹<sup>1</sup>・筋野徒志雄<sup>1</sup>・小宮顕<sup>1,2</sup>・勝又翔子<sup>1</sup>・高柳裕子<sup>1</sup>・名古ゆり恵<sup>1</sup>・田島麻記子<sup>1</sup>・川井清考<sup>1,2,3</sup><sup>1</sup>亀田IVFクリニック幕張, <sup>2</sup>亀田総合病院, <sup>3</sup>東京医科歯科大学

## O-005 Piezo-ICSIは囲卵腔が広い位置から穿刺すべきである

○福嶋文吉・伴政明・山本篤・波羅友里恵・小松保則  
六本木レディースクリニック

## O-006 カルシウムイオノフォアおよび塩化ストロンチウムによる卵子活性化法の妊娠予後の比較

○石本裕美<sup>1</sup>・鶴田美紀<sup>1</sup>・郡山智恵<sup>1</sup>・水田真平<sup>1,2</sup>・松林秀彦<sup>1,2</sup>・竹内巧<sup>1</sup>・石川智基<sup>1,2</sup><sup>1</sup>リプロダクションクリニック東京, <sup>2</sup>リプロダクションクリニック大阪

## 卵母細胞・卵子凍結(臨床)

座長：北島 道夫(高邦会高木病院/国際医療福祉大学)

## O-007 採卵で得られたGV期卵子の体外成熟培養とGV期由来胚の培養成績

○長瀬祐樹<sup>1</sup>・友成美希<sup>1</sup>・米澤潤一<sup>1</sup>・三角夏美<sup>1</sup>・石井直樹<sup>1</sup>・伊藤颯希<sup>1</sup>・小澤悠子<sup>2</sup>・北岡芳久<sup>2</sup>・松浦俊樹<sup>1,2</sup><sup>1</sup>アクトタワークリニック 生殖発生医科学センター, <sup>2</sup>医療法人社団 奨寿会 アクトタワークリニック

## O-008 滑面小胞体凝集塊(sERC)の発現に関連する因子と顕微授精後の胚発生への影響についての検討

○秋葉陽子・石井鈴奈・島村渚・川上茜・安齋歩・寺島みちる・吉田悠人・濱田道子・堀川道晴・橘直之

ウイメンズ・クリニック大泉学園

## O-009 組成の異なる融解試薬における卵子融解への臨床成績の影響

○中澤穂<sup>1</sup>・奥山紀之<sup>1</sup>・福岡由利子<sup>1</sup>・服部裕充<sup>2,1,3</sup>・吉永光希<sup>1</sup>・橋本朋子<sup>1</sup>・京野廣一<sup>1,2,3</sup><sup>1</sup>京野アートクリニック高輪, <sup>2</sup>京野アートクリニック仙台, <sup>3</sup>京野アートクリニック盛岡

## O-010 医学適応妊孕性温存の卵子凍結およびその使用

○畑景子・渡邊陽子・西村加奈子・三浦貴弘・植木毬衣・頼英美・原鐵晃・兒玉尚志  
県立広島病院 成育医療センター 生殖医療科

- O-011 初経未発来白血病女児から卵子凍結を施行しえた一例  
 ○宮下真奈美<sup>1</sup>・源 祥子<sup>1</sup>・重松 幸佑<sup>2</sup>・黄 海鵬<sup>2</sup>・武井かほり<sup>1</sup>・鮫島 浩輝<sup>2</sup>・五味 陽亮<sup>1</sup>・成田 達哉<sup>1</sup>・板谷 雪子<sup>2</sup>・松永 茂剛<sup>1</sup>・菊池 昭彦<sup>1</sup>・高井 泰<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター 母体胎児部門,  
<sup>2</sup> 埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科
- O-012 当院におけるヒト凍結卵子から出生した132例と妊娠継続中2例の分析  
 ○京野 廣一<sup>1,2,3,4</sup>・吉永 光希<sup>1,4</sup>・竹重 勇哉<sup>1,4</sup>・中村 祐介<sup>3,4</sup>・服部 裕充<sup>1,2,3,4</sup>・奥山 紀之<sup>1,4</sup>・福岡由利子<sup>1,4</sup>・中澤 穂<sup>1,4</sup>・宮本 若葉<sup>2,4</sup>・中條友紀子<sup>2,4</sup>・坂本 絵里<sup>2,4</sup>・佐々木恵子<sup>2,4</sup>・太田 百恵<sup>2,4</sup>・佐藤可奈子<sup>2,4</sup>・熊谷 仁<sup>3,4</sup>・戸屋真由美<sup>2,4</sup>・五十嵐秀樹<sup>2,4</sup>・橋本 朋子<sup>1,4</sup>  
<sup>1</sup> 京野アートクリニック高輪, <sup>2</sup> 京野アートクリニック仙台, <sup>3</sup> 京野アートクリニック盛岡,  
<sup>4</sup> 京野アートクリニック品川/日本卵巣組織凍結保存センター (HOPE)

一般口演

5月18日(土)(1日目)

13:40-14:40 第2会場

受精・胚発生(臨床) 1

座長: 河野 康志 (大分大学 産科婦人科)

- O-013 遅延受精胚の培養成績と有用性  
 ○柴田美智子<sup>1</sup>・中野 達也<sup>1</sup>・佐藤 学<sup>1,2</sup>・中岡 義晴<sup>1</sup>・森本 義晴<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 医療法人三慧会 IVF なんばクリニック, <sup>2</sup> 医療法人三慧会 HORAC グランフロント大阪クリニック
- O-014 高度生殖医療センター(培養室)における揮発性有機化合物(VOC)除去フィルター設置後の培養成績  
 ○坂本 紘史<sup>1</sup>・寒河江悠介<sup>2</sup>・今野真佐子<sup>1</sup>・坂井 祥子<sup>1</sup>・北脇 佳美<sup>2</sup>・奥宮明日香<sup>2</sup>・堀江 昭史<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 京都大学医学部附属病院 高度生殖医療センター,  
<sup>2</sup> 京都大学大学院医学研究科 婦人科学産科学講座
- O-015 前培養に低乳酸, 低グルコース培養液を用いた胚培養成績の比較検討  
 ○小熊 惇平・早川 夢乃・鎌倉 沙樹・佐藤 渚・小川 奈津・野尻 由香・野村 昌男・古井 憲司  
 クリニックママ
- O-016 初期卵割不良を反復する難治性不妊に対する前核期人為的透明帯除去法の有効性について  
 ○湯本啓太郎・杉嶋美奈子・川本実乃里・志村 陶子・山口 葉子・田邊 望美・TsounapiPanagiota・桑田日佳里・見尾 保幸  
 ミオ・ファティリテイ・クリニック
- O-017 高度フラグメント発症例への透明帯除去培養法は生児獲得に有効な方法になり得る  
 ○前 倫太郎<sup>1</sup>・前川 朋広<sup>2</sup>・水田 真平<sup>1,2</sup>・竹内 巧<sup>2</sup>・松林 秀彦<sup>1,2</sup>・石川 智基<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup> リプロダクションクリニック大阪, <sup>2</sup> リプロダクションクリニック東京
- O-018 第2分割以降に多核を有する割球が認められた胚の分析  
 ○及川 未来<sup>1</sup>・白田 薫<sup>2</sup>・服部 裕充<sup>1,2,3,4</sup>・熊谷 仁<sup>1</sup>・京野 廣一<sup>1,2,3,4</sup>  
<sup>1</sup> 京野アートクリニック盛岡, <sup>2</sup> 京野アートクリニック仙台, <sup>3</sup> 京野アートクリニック高輪,  
<sup>4</sup> 京野アートクリニック品川/日本卵巣組織凍結保存センター

一般口演

5月18日(土)(1日目)

14:50-15:50 第2会場

受精・胚発生(臨床) 2

座長: 杉山 カ一 (杉山産婦人科)

- O-019 低乳酸培養液を用いた胚培養成績の比較検討  
 ○籠橋 茜・阿部 礼奈・角本 知世・古橋 孝祐・伊藤 宏一・岡本 恵理・苔口 昭次・塩谷 雅英  
 医療法人社団英ウイメンズクリニック
- O-020 ヒト卵管液組成に基づいた培養液使用がC-IVF後の正常受精率とその後の胚発生に及ぼす影響  
 ○原田 義久・福永 恵美・前田 智世・笹川ひより・芝 令子・池田 真妃・岡野真一郎・絹谷 正之  
 医療法人 絹谷産婦人科

- O-021 胚盤胞にみられる遺残割球, fragmentation, 空胞と PGT-A の解析結果の関連について  
 ○大村 直輝<sup>1</sup>・本間 進<sup>1</sup>・有地あかね<sup>1</sup>・小峰 祝敏<sup>1</sup>・工藤 祐輔<sup>2</sup>・小林 彩<sup>1</sup>・鈴木 沙織<sup>1</sup>・川原はるか<sup>1</sup>・木寺 信之<sup>1</sup>・佐々木 博<sup>1</sup>・依光 毅<sup>1</sup>・清水 康史<sup>1</sup>・大原 基弘<sup>2</sup>・石川 智則<sup>3</sup>・河村 寿宏<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup> 田園都市レディースクリニック, <sup>2</sup> 田園都市レディースクリニック二子玉川,  
<sup>3</sup> 東京医科歯科大学大学院茨城県小児・周産期地域医療学講座
- O-022 Fragmentation, 空胞, 遺残割球の有無と凍結融解単一胚盤胞移植の臨床成績の関連について  
 ○川原はるか<sup>1</sup>・福島 治朗<sup>1</sup>・有地あかね<sup>1</sup>・大村 直輝<sup>1</sup>・小峰 祝敏<sup>1</sup>・工藤 祐輔<sup>2</sup>・伊藤かほり<sup>2</sup>・遠藤 美幸<sup>1</sup>・向井 直子<sup>1</sup>・高橋由香里<sup>1</sup>・本間 進<sup>1</sup>・寺岡 香里<sup>1</sup>・蓮井 美帆<sup>1</sup>・竹村 由里<sup>2</sup>・木寺 信之<sup>1</sup>・佐々木 博<sup>1</sup>・依光 毅<sup>1</sup>・清水 康史<sup>1</sup>・大原 基弘<sup>2</sup>・河村 寿宏<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup> 田園都市レディースクリニック, <sup>2</sup> 田園都市レディースクリニック二子玉川
- O-023 体外受精および胚培養成績と血中亜鉛値との関連  
 ○柿沼 敏行・柿沼 薫・野澤 来規・大和田真希・九島 紫織・中園亜由美・柳田 薫  
 国際医療福祉大学病院 リプロダクションセンター
- O-024 拡張胚盤胞における円周上の TE 数計測は客観的評価に有効か  
 ○菅野 弘基・菊地 裕幸・岸田 理英・結城 笑香・坂本 葵・佐々木郁弥・杉田 綺羅・戸石川 柊輔・高橋 渚・會田 智子・西澤 圭織・淵之上康平・片桐末希子・吉田 仁秋  
 仙台 ART クリニック

## 一般口演

5月18日(土)(1日目)

16:00-17:00 第2会場

- PGT (臨床) 座長：中岡 義晴 (IVF なんばクリニック)
- O-025 新鮮胚と凍結融解胚に対する PGT-A 生検の臨床成績に与える影響  
 ○小林 亮太<sup>1</sup>・三村 結香<sup>1</sup>・大垣 彩<sup>1</sup>・水野 里志<sup>1</sup>・岡村 直哉<sup>1</sup>・上田 匡<sup>1</sup>・重田 護<sup>1</sup>・辻 勲<sup>1</sup>・福田 愛作<sup>1</sup>・森本 義晴<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> IVF 大阪クリニック, <sup>2</sup> HORAC グランフロント大阪クリニック
- O-026 PGT-A 実施胚の形態動態学的特徴の解析  
 ○杉本 岳・勝股 克成・河内谷 敏  
 神戸元町夢クリニック
- O-027 正倍数性胚移植後、着床不全・胚喪失に帰結した症例の検討  
 ○加藤 僚子・川上 芽吹・篠崎 香・白石 達典・松田 繁・中尾 仁彦・米澤 美令・市川 智子・桑原 慶充  
 日本医科大学
- O-028 当院における PGT-A モザイク胚の臨床成績の検討  
 ○後藤 優介・原田 祐紀・戸水 桐子・寄田 朋子・永井 徹・和田 龍・向田 哲規  
 広島 HART クリニック
- O-029 凍結胚盤胞融解後培養液の使用による niPGT 解析精度の向上  
 ○渡邊 紘之<sup>1,2</sup>・木田 雄大<sup>1,2</sup>・近藤 史哉<sup>1,2</sup>・竹田 翔<sup>1,2</sup>・北坂 浩也<sup>1,2</sup>・福永 憲隆<sup>1,2</sup>・浅田 義正<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup> 医療法人浅田レディースクリニック, <sup>2</sup> 浅田生殖医療研究所
- O-030 培養液を用いた非侵襲的 PGT-A (Ni-PGT-A) を有効利用するためには?  
 ○浅野 栞・中川 浩次・田畑さくら・渡邊 英明・登内 恵美・白井安砂子・堀川 隆・高見澤 聡・丸山 哲夫・杉山 力一  
 杉山産婦人科新宿

## IVG・IVM(基礎)

座長:大杉美穂(東京大学大学院理学系研究科)

## O-031 Gellan gumを基質に用いたブタ体外成熟が胚発育に及ぼす影響

○原駿介・岩田尚孝  
東京農業大学大学院農学研究科動物科学専攻

## O-032 dbcAMPと8-Br-cGMPのpre-IVMが、体外成熟卵の核成熟、胚発生に及ぼす影響

○松永利恵<sup>1</sup>・森田ひろみ<sup>1</sup>・有田莉奈<sup>1</sup>・倉崎友加里<sup>1</sup>・磯部佳菜<sup>1</sup>・三浦恵<sup>1</sup>・小林勇毅<sup>1</sup>・森下奈美<sup>2</sup>・越知正憲<sup>1</sup>・堀内俊孝<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>おち夢クリニック名古屋,<sup>2</sup>おち夢クリニック名古屋・先端生殖医学研究所

## O-033 C型利尿ペプチド(CNP)とdbcAMPのpre-IVMが、ウシ卵子のGV期核相推移、核成熟、ICSI後の胚発生に及ぼす影響

○堀内俊孝<sup>1</sup>・森下奈美<sup>1</sup>・松永利恵<sup>2</sup>・越知正憲<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>おち夢クリニック名古屋 先端生殖医学研究所,<sup>2</sup>おち夢クリニック名古屋

## O-034 イヌ卵子の体外成熟における酸化還元補酵素ピロロキノリンキノンの効果

○城戸あさひ・中園晴菜・藤本有美・阿部靖之  
県立広島大学

## O-035 培養インサートに塗布した基底膜構成成分がウシ卵母細胞の体外発育に及ぼす影響

○平尾雄二  
農研機構畜産研究部門 乳牛精密管理研究領域

## O-036 加齢に伴うマウス卵母細胞の染色体分配・分離におけるRAD21の役割

○長谷川千尋<sup>1</sup>・落翔真<sup>1</sup>・木下庸<sup>1</sup>・柴田迅<sup>1</sup>・藤野裕太<sup>2</sup>・山城秀昭<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>新潟大学大学院自然科学研究科,<sup>2</sup>新潟大学農学部

## 受精(基礎)

座長:尾畑やよい(東京農業大学バイオサイエンス学科)

## O-037 雄性不妊マウスへのバチルアルコール投与と精子形態についての解析

○水野由美<sup>1,2</sup>・水野洋介<sup>3</sup>・石原由夏<sup>1</sup>・梶原健<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>埼玉医科大学中央研究施設実験動物部門,<sup>2</sup>埼玉医科大学産科・婦人科,  
<sup>3</sup>埼玉医科大学中央研究施設形態部門

## O-038 CXCL17はGPR35を介して精子のchemotaxisを誘導する

○市河暖翔<sup>1</sup>・岡本麻子<sup>2</sup>・海野岬<sup>3</sup>・島田昌之<sup>2</sup>・山下泰尚<sup>1,3</sup>  
<sup>1</sup>県立広島大学大学院総合学術研究科,<sup>2</sup>広島大学大学院統合生命科学研究科,  
<sup>3</sup>県立広島大学生命環境学部

## O-039 精子中心体は前核移動に重要な微小管ネットワークの形成とダイニンの局在を制御する

○高田裕貴<sup>1</sup>・橋本周<sup>1</sup>・森本義晴<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>大阪公立大学大学院医学研究科 リプロダクティブサイエンス研究所,  
<sup>2</sup>HORAC グランフロント大阪クリニック

## O-040 TLR7/8 依存的な卵丘細胞のサイトカインストームが受精障害を誘発する

○梅原崇・岡本麻子・島田昌之  
広島大学 大学院統合生命科学研究科O-041 マウス受精時のPLC $\zeta$ を介したCa<sup>2+</sup>オシレーションは初期胚における正常な染色体分配に重要である○杉田陽美季<sup>1</sup>・財部駿介<sup>1</sup>・川田由以<sup>2</sup>・影山敦子<sup>1</sup>・井上梓<sup>3</sup>・甲斐義輝<sup>4</sup>・山下直樹<sup>4</sup>・大我政敏<sup>1,2</sup>・村上裕信<sup>1,2</sup>・寺川純平<sup>1,2</sup>・伊藤潤哉<sup>1,2</sup>・柏崎直巳<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>麻布大学大学院獣医学研究科,<sup>2</sup>麻布大学獣医学部,<sup>3</sup>理化学研究所,<sup>4</sup>山下湘南夢クリニック

O-042 Overdue calcium oscillation causes polyspermy but permits normal development in mouse eggs

- 福岡 美桜<sup>1,2</sup>・山田 満稔<sup>1</sup>・康 宇鎮<sup>2</sup>・片野 太貴<sup>2</sup>・堀池 咲重<sup>2</sup>・山上 亘<sup>1</sup>・田中 守<sup>1</sup>・宮戸 健二<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>慶應義塾大学医学部産婦人科学教室,  
<sup>2</sup>国立成育医療研究センター 細胞医療研究部 生殖細胞機能研究室

一般口演

5月18日(土)(1日目)

11:20-12:20 第3会場

その他(基礎)

座長:加藤 容子(近畿大学 農学部)

O-043 卵胞液中に発見した肥満性 miRNA による卵子への作用とその発現機序の検証

- 井上 裕貴・岩田 尚孝  
東京農業大学大学院農学研究科

O-044 ヒト初期胚第二有糸分裂は第一有糸分裂により生じた核異常を修正する可能性がある

- 坂口 太一<sup>1</sup>・白澤 弘光<sup>1</sup>・後藤真由美<sup>1</sup>・小野 有紀<sup>1</sup>・岡部 基成<sup>2</sup>・岩澤 卓也<sup>1</sup>・尾野 夏紀<sup>1</sup>・福永 憲隆<sup>3</sup>・  
浅田 義正<sup>3</sup>・熊澤由紀代<sup>1</sup>・寺田 幸弘<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>秋田大学医学部附属病院 産婦人科学講座,<sup>2</sup>能代厚生医療センター,  
<sup>3</sup>浅田レディースクリニック

O-045 RFID タグ組込み Cryoroom ガラス化保存システムによる安全性の高いヒト受精卵/卵子管理システムの開発

- 水野 仁二<sup>1</sup>・丸本孝太郎<sup>1</sup>・小松 弘英<sup>2</sup>・佐野 友也<sup>1</sup>・金子 弘行<sup>1</sup>・村山 嘉延<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>株式会社ナガヨシ ART 製品研究開発,<sup>2</sup>株式会社 77KC,<sup>3</sup>日本大学 工学部

O-046 マウス生体の卵管における卵子輸送の観察 ~卵管液流・繊毛拍動・蠕動運動との関係に着目して~

- 日野 敏昭<sup>1</sup>・柳町 隆造<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>旭川医科大学医学部生物学教室,<sup>2</sup>ハワイ大学医学部

O-047 アルブミンの安定化剤であるカプリル酸は体外受精率を低下させる

- 朝山 雄太・杉山 唯・八尾 竜馬  
扶桑薬品工業株式会社研究開発センター

O-048 シリアンハムスターの生体外における胚操作技術の確立

- 繁田 麻葉・島田奈浦子・戸部 有紗・井上 健一・阿部 高也・清成 寛  
国立研究開発法人理化学研究所 生命機能科学研究センター (BDR)

一般口演

5月18日(土)(1日目)

13:40-14:40 第3会場

その他(臨床) 1

座長:鍋田 基生(つばきウイメンズクリニック)

O-049 人工授精における精子準備の時間間隔は妊娠結果と精子所見に影響を与える

- 浅野有希子・小屋 朋子・塩見 典子・三浦 陽菜・金子亜沙美・仙波 恵樹・眞鍋 修一・小栗 久典  
ロイヤルベルクリニック不妊センター

O-050 人工授精における最適な施行回数の検討 ~保険診療前後の比較を中心に~

- 樋口 謙太・大久保 毅・樋口 藍・田口 智美・松尾 涼子・恩田 知幸・林 輝明・大見 健二・瀬川 智也  
新橋夢クリニック

O-051 胚移植前のアシステッドハッチング実施時における『透明帯完全除去法』は着床率の向上に寄与する

- 川口優太郎・峯 麻美・武川明香里・金谷真由子・賀来 哲明・賀来 宗明・藤原 敏博  
医療法人社団 鳳凰会 フェニックスアートクリニック

O-052 妊娠予測 AI と倍数性予測 AI を組み合わせると妊娠予測精度が向上する

- 木田 雄大<sup>1,2</sup>・福永 憲隆<sup>1,2</sup>・辻 暖永<sup>1,2</sup>・吉田 静香<sup>1,2</sup>・徳田 愛未<sup>1,2</sup>・浅田 義正<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>医療法人 浅田レディースクリニック,<sup>2</sup>浅田生殖医療研究所

O-053 新クリニック開院1年後における受診状況と ART 件数推移及び今後の課題について

- 山上一樹・古橋 孝祐・北詰 麻衣・田中はるな・江夏 国宏・塩谷 雅英  
医療法人社団 英ウイメンズクリニック

O-054 エストロゲン受容体陽性乳癌患者に対する、タモキシフェン併用調節卵巣刺激の有用性  
～システムティックレビュー/メタアナリシスによる検討～

○吉田 司<sup>1,2</sup>・太田えりか<sup>2</sup>・平田 哲也<sup>2</sup>・河村 和弘<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 順天堂大学医学部附属順天堂医院, <sup>2</sup> 聖路加国際病院

一般口演

5月18日(土)(1日目)

14:50-15:50 第3会場

その他(臨床) 2

座長: 古井 憲司(医療法人社団愛育会クリニックママ)

O-055 機械学習モデルとロジスティック回帰モデルの精度比較

○齋藤 雅人・田中 智基・佐藤 恵・川上 照美・要津 みく・馬場 嘉子・酒井 隼人・宮崎 孔龍・中島いくみ・  
深津 優子・榎谷 法生・松本 和紀・原口 広史・松本玲央奈

医療法人社団愛慈会 松本レディース IVF クリニック

O-056 逆行性射精精子を用いて妊娠出産した2症例

○根岸 淳江<sup>1</sup>・阿部いおり<sup>1</sup>・三井田美樹<sup>1</sup>・根井ひとみ<sup>1</sup>・小林 未央<sup>1</sup>・飯塚 円香<sup>1</sup>・中里 智子<sup>1</sup>・平石 光<sup>1</sup>・  
北原 慈和<sup>1</sup>・前野 佑太<sup>2</sup>・青木 雅典<sup>2</sup>・岩瀬 明<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 群馬大学医学部附属病院産科婦人科, <sup>2</sup> 群馬大学医学部附属病院泌尿器科

O-057 逆行性射精の患者から膀胱内精子回収法にて顕微授精を行い胚盤胞を得た一例

○佐藤 麻弥<sup>1</sup>・梶原 健<sup>1</sup>・水野 由美<sup>1</sup>・丸茂 雄太<sup>1</sup>・齋藤 良平<sup>1</sup>・市川 大介<sup>1</sup>・上村のぞみ<sup>1</sup>・高村 将司<sup>1</sup>・  
難波 聡<sup>1</sup>・岡田 弘<sup>2</sup>・沖津 撰<sup>3</sup>・亀井 良政<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 埼玉医科大学病院, <sup>2</sup> 獨協医科大学埼玉医療センター, <sup>3</sup> 楠原ウイメンズクリニック

O-058 完全長 total RNA-seq を用いた培養液中胚性 cfRNA の解析

○杉本 岳<sup>1,2</sup>・真里谷 奨<sup>1,3</sup>・河内谷 敏<sup>2</sup>・倉橋 浩樹<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 藤田医科大学医科学研究センター分子遺伝学研究部門, <sup>2</sup> 神戸元町夢クリニック,

<sup>3</sup> 札幌医科大学医学部産婦人科学講座

O-059 卵巣刺激開始時低 LH 血症および高齢症例に対する LH 活性の有用性の検討

○荒田 萌花<sup>1,2</sup>・大和田陽菜<sup>1</sup>・林 倫子<sup>1</sup>・矢野 祐也<sup>1</sup>・武田明日香<sup>1,2</sup>・湊 沙希<sup>1,2</sup>・山本 由理<sup>1,2</sup>・岩佐 武<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup> 徳島大学病院, <sup>2</sup> 徳島大学大学院医歯薬学研究部産科婦人科学分野

O-060 多腺性自己免疫症候群(Autoimmune polyglandular syndrome: APS) I型の姉妹における表現型の多様性

○田中佑佳<sup>1,3</sup>・辰巳嵩征<sup>2</sup>・鳴海覚志<sup>2</sup>・深見真紀<sup>2</sup>・石塚文平<sup>3</sup>・河村和弘<sup>1,3</sup>

<sup>1</sup> 順天堂大学大学院医学研究科産婦人科学講座, <sup>2</sup> 国立成育医療研究センター,

<sup>3</sup> ローズレディースクリニック

一般口演

5月18日(土)(1日目)

16:00-17:00 第3会場

卵子・接合子・胚(基礎)

座長: 平尾 雄二(農研機構 畜産研究部門)

O-061 卵子形成過程における標的タンパク質の機能喪失法

○石倉 啓瑚・八木 有紀・尾畑やよい

東京農業大学

O-062 第一極体移植によって作製したマウス胚の array comparative genome hybridization (aCGH) による染色体解析

○平賀 裕章

東北大学病院産婦人科

O-063 マウス第一極体移植胚の発生能低下は紡錘体形成不全に起因する

○平賀 裕章・立花 眞仁・菅原 淳史・佐藤 壮樹・高橋 藍子・高橋 友梨・虎谷 惇平・横山 絵美・渡邊 善・  
齋藤 昌利

東北大学病院産婦人科

- O-064 マウス受精胚に形成された微小核の摘出方法の確立と解析  
 ○飯窪 郁江<sup>1,4</sup>・杉山 陽大<sup>1</sup>・鎌田 裕子<sup>1</sup>・長友 啓明<sup>2</sup>・伊藤 大裕<sup>1</sup>・若山 清香<sup>5</sup>・大我 政敏<sup>3</sup>・笠井 剛<sup>4</sup>・幸田 尚<sup>1</sup>・若山 照彦<sup>1,5</sup>  
<sup>1</sup>山梨大学生命環境学部, <sup>2</sup>山梨大学総合分析実験センター, <sup>3</sup>麻布大学獣医学部,  
<sup>4</sup>このはな産婦人科, <sup>5</sup>山梨大学発生工学研究センター
- O-065 トランスクリプトームデータに基づくマウス初期胚オートファジー関連因子の活性化の解析  
 ○建部 貴輝<sup>1,2</sup>・小倉 淳郎<sup>1,2</sup>・井上 貴美子<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>理化学研究所 BRC 遺伝工学基盤技術室, <sup>2</sup>筑波大学理工情報生命学術院生命農学学位プログラム
- O-066 ラマン分光法による胚培養液分析から卵質を評価する新たな試み  
 ○石垣 美歌<sup>1</sup>・玉野 瑠愛<sup>1</sup>・高橋 和政<sup>2</sup>・岩澤 卓也<sup>2</sup>・白澤 弘光<sup>2</sup>・熊澤由紀代<sup>2</sup>・寺田 幸弘<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>島根大学, <sup>2</sup>秋田大学

一般口演

5月19日(日)(2日目)

9:00-10:00 第2会場

胚発生(基礎) 座長: 岩田 尚孝 (東京農業大学 農学部 畜産学科 家畜繁殖学研究室)

- O-067 ウシ体外受精由来胚の培養におけるセリンの最適添加濃度と作用機序の検討  
 ○伊丹 暢彦・平尾 雄二  
 農研機構畜産研究部門
- O-068 成長因子及びアミノ酸の組成を改変した高性能ウシ胚培養液の開発  
 ○佐藤 広樹<sup>1</sup>・高倉 啓<sup>1</sup>・坂原 聖士<sup>1</sup>・黒谷 玲子<sup>1</sup>・星 宏良<sup>2</sup>・阿部 宏之<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>山形大学 大学院理工学研究科 化学・バイオ工学専攻, <sup>2</sup>株式会社 機能性ペプチド研究所
- O-069 マウス着床前胚発生における DNA と細胞質量比の重要性の解析  
 ○PANTAO<sup>1</sup>・平良 夏実<sup>2</sup>・大杉 美穂<sup>2,1</sup>  
<sup>1</sup>東京大学大学院・総合文化研究科, <sup>2</sup>東京大学大学院・理学系研究科
- O-070 マウス体外加齢卵子由来胚のレドックス制御と抗酸化能における mrTRX-1 の効果  
 ○下井 岳<sup>1,2</sup>・三善 正太郎<sup>1</sup>・鎌倉 彩百<sup>2</sup>・如澤 竜治<sup>2</sup>・亀山 祐一<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>東京農業大学生物産業学部, <sup>2</sup>東京農業大学大学院生物産業学研究科
- O-071 受精卵呼吸測定装置を用いた胚呼吸量測定による良好胚選別の可能性を探る  
 ○矢野 瑞穂・福井 淳史・堀口 菜保子・吉武 千織・竹山 龍・山谷 文乃・脇本 裕・柴原 浩章  
 兵庫医科大学医学部産科婦人科
- O-072 ヒト内在性レトロウイルス K は胚性ゲノム活性化マーカーになり得る  
 ○小林 睦<sup>1</sup>・小林 美里<sup>1</sup>・塩田 敏博<sup>2</sup>・北出 真理<sup>1</sup>・板倉 敦夫<sup>1</sup>・河村 和弘<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>順天堂大学 産婦人科学講座, <sup>2</sup>Massachusetts General Hospital, Center for Cancer Research

一般口演

5月19日(日)(2日目)

10:10-11:10 第2会場

タイムラプス(臨床) 座長: 吉田 淳 (木場公園クリニック)

- O-073 当院におけるタイムラプス搭載型培養器と通常培養器での臨床成績の比較検討  
 ○矢野 綾音・北山 仁菜・衛藤 菜績・神田 晶子・長木 美幸・後藤 香里・甲斐由布子・津野 晃寿・伊東 裕子・後藤 裕子・宇津宮隆史  
 セント・ルカ産婦人科
- O-074 タイムラプスにおける AI スコアリングシステムの有用性  
 ○濱田 仁・澤井 毅・百崎恵里菜・岡田 叶・奥山麻梨恵・山本 晃太・斎藤 未希・河野紗也加・日下部佳恵・両角 和人  
 両角レディースクリニック

- O-075 ヒト胚における第一卵割時 Direct cleavage の様式が臨床成績に与える影響  
 ○糸田 千帆<sup>1</sup>・水田 真平<sup>1,2</sup>・土井 和昂<sup>1</sup>・成宮有里佳<sup>1</sup>・竹内 巧<sup>2</sup>・松林 秀彦<sup>1,2</sup>・石川 智基<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>リプロダクションクリニック大阪, <sup>2</sup>リプロダクションクリニック東京
- O-076 第二極体の挙動とその後の胚発生との関連  
 ○志村 陶子・湯本啓太郎・杉嶋美奈子・川本実乃里・山口 葉子・田邊 望美・ツナビバナイオタ・桑田日佳里・見尾 保幸  
 ミオ・ファティリティ・クリニック リプロダクティブセンター
- O-077 初期不規則分割胚の発生能は正常分割細胞の残存量から推測できる  
 ○渡辺 真一・富田 麻莉・鈴木 篤智・松田有希野・吉貝 香里・中野 英子・澤田 富夫  
 さわだウイメンズクリニック
- O-078 人工知能 Life Whisper を用いた妊娠および正倍数性予測の有用性  
 ○森 香菜江・糸井 史陽・渡邊鈴美香・田中 梨央・加藤 麗夏・秋田 真央・中濱 綾菜・鎌田 美佳・服部 幸雄  
 なごや ART クリニック

一般口演

5月19日(日)(2日目)

11:20-12:20 第2会場

胚凍結(臨床)

座長: 渡邊 浩彦 (醍醐渡辺クリニック)

- O-079 胚凍結や胚融解を行う胚培養士の違いが単一融解胚盤胞移植後の妊娠成績へ及ぼす影響  
 ○畠山 将太・遠藤 久誉・長濱 由紀・山口 幸希・谷口 遼馬・小泉香穂梨・石戸谷圭佑・櫻井 雄太・齋藤ひとみ・堀内 順子・黄木 詩麗・矢内原 敦  
 矢内原ウイメンズクリニック
- O-080 トレハロース, キサンタンガム添加ガラス化凍結保存液の臨床的有用性の検討  
 ○菅原さくら<sup>1</sup>・柴崎 世菜<sup>1,4</sup>・佐々木千紗<sup>1,4</sup>・高橋 瑞穂<sup>1</sup>・服部 裕充<sup>1,2,3,4</sup>・戸屋真由美<sup>1</sup>・五十嵐秀樹<sup>1</sup>・京野 廣一<sup>1,2,3,4</sup>  
<sup>1</sup>京野アートクリニック仙台, <sup>2</sup>京野アートクリニック高輪, <sup>3</sup>京野アートクリニック盛岡,  
<sup>4</sup>京野アートクリニック品川, 日本卵巣組織凍結保存センター HOPE
- O-081 凍結融解胚移植における凍結胚融解 ULTRAFAST 法と従来の標準プロトコルとの比較検討  
 ○小濱 奈美・川村 悠喜・岩田まゆみ・古田 亜弥・古田あや奈・藤田 有未・檜垣 香織・小櫻明日香・岩城 裕子・西田みなみ・見並 昌己・中川 夏希・平田ななみ・坂本 奈未・中山 貴弘  
 医療法人財団 今井会 足立病院 生殖医療センター
- O-082 デキストラン添加凍結融解液を使用した凍結融解胚盤胞 1 胚移植の成績評価  
 ○河野 博臣・高井 彩・阿部 睦・飯村 裕規・陳 黙・山内 啓弘・小出 有紗・篠田 真理・吉田 雅人・山下 直樹  
 医療法人社団 煌の会 山下湘南夢クリニック
- O-083 脂肪酸添加融解液が胚盤胞移植成績へ与える影響について  
 ○吉田 敏哉・坂井 和貴・河知 美佳・川野 広大・野手 健造・長谷川麻理・伊木朱有美・鍋田 基生  
 つばきウイメンズクリニック
- O-084 ヒトガラス化胚盤胞におけるワンステップ融解の検討—臨床導入に向けてのアプローチ—  
 ○窪山 貴恵<sup>1</sup>・泊 博幸<sup>1</sup>・岩山 広<sup>2</sup>・國武 克子<sup>1</sup>・内村 慶子<sup>1</sup>・下瀬 瞳<sup>1</sup>・坂村 遥香<sup>1</sup>・北岡 杏奈<sup>1</sup>・谷端 李穂<sup>1</sup>・関 葉月<sup>1</sup>・斎藤 研祐<sup>1</sup>・權藤 咲妃<sup>1</sup>・詠田 真由<sup>1</sup>・佐野由香子<sup>1</sup>・本庄 考<sup>1</sup>・詠田 由美<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>医療法人アイブイエフ詠田クリニック, <sup>2</sup>おびひろ ART クリニック



## 精子・受精(基礎)

座長: 山城 秀昭(新潟大学 農学部)

O-085 マウス精子を常温で永久保存することは可能であるか?

○鎌田 裕子<sup>1,2</sup>・山地 莞梧<sup>1</sup>・牛込 夏樹<sup>1</sup>・伊藤 大裕<sup>1</sup>・若山 清香<sup>1</sup>・平岡謙一郎<sup>2,3</sup>・林 正路<sup>2</sup>・川井 清考<sup>2,3</sup>・若山 照彦<sup>1</sup><sup>1</sup>山梨大学, <sup>2</sup>亀田総合病院, <sup>3</sup>亀田 IVF クリニック 幕張

O-086 哺乳類精子の長期宇宙保存を可能にする深宇宙放射線防護方法の開発

○黒川 祐菜<sup>1</sup>・若山 清香<sup>2</sup>・牛込 夏樹<sup>1</sup>・井上 怜・山地 莞梧<sup>1</sup>・佐藤 吉真<sup>1</sup>・楊力<sup>1</sup>・江村 里南<sup>3</sup>・武田 盛也<sup>1</sup>・伊藤 大裕<sup>1</sup>・藤田真由美<sup>4</sup>・荒木 良子<sup>4</sup>・小平 聡<sup>4</sup>・若山 照彦<sup>2</sup><sup>1</sup>山梨大学大学院生命環境学部, <sup>2</sup>山梨大学発生工学研究センター, <sup>3</sup>広島 HART クリニック, <sup>4</sup>量子科学技術研究開発機構

O-087 マウス精子超活性化運動と体外受精の調整に対するトリプトファン代謝物の影響

○藤ノ木政勝・古谷野裕葵

獨協医科大学医学部先端医科学統合研究施設実験動物センター実験動物研究室

O-088 グルタミン酸ナトリウムがマウス凍結乾燥精子の作製時に及ぼす保護効果

○牛込 夏樹<sup>1</sup>・伊藤 大裕<sup>1</sup>・若山 清香<sup>2</sup>・若山 照彦<sup>2</sup><sup>1</sup>山梨大学大学院生命環境学部, <sup>2</sup>山梨大学大学院発生工学センター

O-089 マウス受精時の卵活性化にはイノシトール3リン酸受容体タイプI(IP3R1)が必須である

○財部 駿介<sup>1</sup>・笠井えるが<sup>1</sup>・杉田陽美季<sup>1</sup>・川田 由以<sup>2</sup>・影山 敦子<sup>1</sup>・御子柴克彦<sup>3</sup>・寺川 純平<sup>1,2</sup>・伊藤 潤哉<sup>1,2</sup>・柏崎 直己<sup>1,2</sup><sup>1</sup>麻布大学獣医学研究科, <sup>2</sup>麻布大学獣医学部動物応用科学科, <sup>3</sup>上海科技大学

O-090 ピエゾICSIにおけるインジェクションピペット先端形状の違いが穿刺後のウシ卵子の生存性に及ぼす影響

○河野康二郎<sup>1</sup>・桑山 リオ<sup>1,2</sup>・川口 裕加<sup>1</sup>・梅川 由衣<sup>2</sup>・桑山 正成<sup>1,2</sup><sup>1</sup>(株)先端生殖技術研究所, <sup>2</sup>(株)リプロライフ

## 胚移植・着床(臨床)

座長: 鈴木 達也(獨協医科大学病院 リプロダクションセンター)

O-091 胚移植カテーテルの種類による再胚移植となった確率と、臨床妊娠率の比較検討

○濱本 純子・塚原慎一郎・塚原 裕香・坂川久仁子・加藤 公海

つかはらウイメンズクリニック

O-092 凍結融解胚盤胞移植における SEET 法の有用性の検討

○漆間 未優・西山和加子・山口 美佳・山口 麻美・田口 苑実・古賀 加恋・小嶋 沙希・野見山真理・有馬 薫・北島 道夫

医療法人社団高邦会 高木病院 生殖医療センター

O-093 胚移植時子宮内膜細胞を用いた妊娠関連遺伝子へ影響を与える因子の検討

○後藤 香里<sup>1</sup>・河野 康志<sup>2</sup>・甲斐由布子<sup>1</sup>・津野 晃寿<sup>1</sup>・伊東 裕子<sup>1</sup>・後藤 裕子<sup>1</sup>・宇津宮隆史<sup>1</sup><sup>1</sup>セント・ルカ産婦人科, <sup>2</sup>大分大学医学部産科婦人科

O-094 透明帯の微小スリットから ICM の一部が漏出した胚盤胞の妊娠成績の調査

○中野 俊・岡部 美紀・山内久美子・明石佐奈子・塩谷 仁之・岡田裕美子・藤田 真紀・高橋 敬一

高橋ウイメンズクリニック

O-095 生殖周産期継続管理が示す黄体存在下凍結胚移植の優越性

○安藤 寿夫<sup>1,2</sup>・鈴木 邦昭<sup>1,3</sup>・梅村 周平<sup>1,3</sup>・菅沼 寛明<sup>1,3</sup>・富田 斐月香<sup>1,3</sup>・小椋 正人<sup>1,3</sup>・古井 達人<sup>1,3</sup>・姜 真以乃<sup>1,3</sup>・古井 憲作<sup>1,3</sup>・山田友梨花<sup>1,3</sup>・諸井 條太郎<sup>1,3</sup>・甲木 聡<sup>1,3</sup>・梅村 康太<sup>3,4</sup>・岡田真由美<sup>3</sup><sup>1</sup>豊橋市民病院総合生殖医療センター, <sup>2</sup>豊橋市民病院産婦人科(生殖医療),<sup>3</sup>豊橋市民病院産婦人科, <sup>4</sup>豊橋市民病院女性内視鏡外科

O-096 ERA の有用性に関する後方視的検討

○中井 康弘・堅田 千晶・中東 久子・大橋いく子・矢野 浩史  
医療法人 矢野産婦人科

一般口演

5月19日(日)(2日目)

11:20-12:20 第3会場

精子(臨床)

座長:宇津宮 隆史(セント・ルカ産婦人科)

O-097 Sperm chromatin structure assay パラメーターは IVF 受精率の予測因子となりうるか

○星野 由貴・長谷川久隆・大島 浩輔・浦嶋 紗妃・宮崎 史佳・村田さくら・石橋 和悟・佐藤由莉香・  
佐野 憲一・吉田 淳  
木場公園クリニック

O-098 精液の温度変化が精子性状に及ぼす影響

○葛山 貴士<sup>1</sup>・山本 太陽<sup>1,2</sup>・花村 浩美<sup>1</sup>・田崎 美都<sup>1</sup>・森茂 侑<sup>1</sup>・峯 克也<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>峯レディースクリニック, <sup>2</sup>東京農業大学大学院

O-099 密度勾配遠心法に比較して Zymot 法によって精子調整した ART は有効である

○沖田 愛理・中村 千夏・徳永友里恵・上田真理奈・池田 早希・江崎 彩乃・畑野 理加・白石真璃菜・  
小山 伸夫・三好 潤也・木下 和雄・河野 哲郎  
医療法人聖命愛会 ART 女性クリニック

O-100 運動精子選別装置「ミグリス」と密度勾配遠心分離法における妊娠成績の比較

○野村 瑠莉・岸 加奈子・鈴木 理恵・籠橋 茜・松浦 まき・中居 由紀・山上一樹・古橋 孝祐・江夏 徳寿・  
岡本 恵理・苔口 昭次・塩谷 雅英  
医療法人社団 英ウィメンズクリニック

O-101 男女の加齢が精子性状および体外受精成績と発生動態に及ぼす影響

○山本 太陽<sup>1,2</sup>・花村 浩美<sup>1</sup>・葛山 貴士<sup>1</sup>・田崎 美都<sup>1</sup>・森茂 侑<sup>1</sup>・岩田 尚孝<sup>3</sup>・峯 克也<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>峯レディースクリニック, <sup>2</sup>東京農業大学大学院, <sup>3</sup>東京農業大学

O-102 凍結精子を用いた ICSI 由来 2.1PN 胚の解析

○宮村 知子・川合 優菜・榊原 由佳・望月 汐見・日野沙也加・吉田 剛大・白倉佳那子・石川 立・  
大石 彩加・清水 優菜・山口和香佐・俵 史子  
俵 IVF クリニック

ポスター

5月18日(土), 19日(日)

5F 501

P-001 滑面小胞体凝集塊 (sERC) は胚移植予後には影響を及ぼさない

○小林 君任<sup>1</sup>・水田 真平<sup>1,2</sup>・松林 秀彦<sup>1,2</sup>・竹内 巧<sup>1</sup>・石川 智基<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>リプロダクションクリニック東京, <sup>2</sup>リプロダクションクリニック大阪

P-002 POI 症例におけるカルシウムイオノフォアの有効性についての解析

○神岡 絵梨・名古 満・福島 由樹・古谷 正敬・井原 基公・木村真智子・石塚 文平  
医療法人社団 ローズレディースクリニック

P-003 個体のエネルギー摂取不足が卵母細胞の脂質含量や初期発生に与える影響

○川上 心也・菊地 都妙・鈴木 可菜・丸山 恭花  
新潟医療福祉大学 健康栄養学科

P-004 未成熟卵子体外成熟培養の成熟誘導率に関する検討およびタイムラプスモニタリング装置による観察

○中川 公平・脇本 裕・吉武 千織・堀口奈保子・山谷 文乃・福井 淳史・柴原 浩章  
兵庫医科大学産科婦人科

- P-005 哺乳動物卵母細胞におけるミトコンドリアの数・関連機能の種を越えた保存性に関する検討  
鈴木 雅子・下井 岳・和田 健太・鎌倉 彩百・○亀山 祐一  
東京農業大学大学院生物産業学研究科
- P-006 膜構造による生理学的精子選別法の臨床での有用性の検討  
○真柄 栄梨<sup>1</sup>・立花 亮太<sup>1,2</sup>・東本 誠也<sup>1</sup>・寺田 堅斗<sup>1,2</sup>・植村 碧<sup>1</sup>・西村 梨緒<sup>1</sup>・高山恵理奈<sup>1</sup>・武内 大輝<sup>2</sup>・池田 智明<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>三重大学医学部附属病院 高度生殖医療センター,  
<sup>2</sup>三重大学大学院 医学系研究科 産科婦人科学講座
- P-007 ZyMöt での精子調整後の遠心処理が cIVF 症例の培養成績へ及ぼす影響  
○西川 茉由<sup>1</sup>・水田 真平<sup>1,2</sup>・北原 彩花<sup>2</sup>・岩本 佑佳<sup>2</sup>・松林 秀彦<sup>1,2</sup>・竹内 巧<sup>1</sup>・石川 智基<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>リプロダクションクリニック東京, <sup>2</sup>リプロダクションクリニック大阪
- P-008 非遠心型精子調整デバイスの有用性の検討  
○山城 恵美・渡邊 英明・白井安砂子・田畑さくら・木村 将貴・堀川 隆・丸山 哲夫・高見澤 聡・中川 浩次・杉山 カー  
杉山産婦人科新宿
- P-009 ヒト精子凍結保存液へのカルボキシル化ポリ-L-リジンの添加は凍結融解後の精子 DNA 断片化を減少し、減少作用はレスベラトロールの添加で増強する  
○立花 亮太<sup>1,2</sup>・武内 大輝<sup>2</sup>・東本 誠也<sup>1</sup>・真柄 栄梨<sup>1</sup>・寺田 堅斗<sup>1,2</sup>・植村 碧<sup>1</sup>・高山恵理奈<sup>1</sup>・池田 智明<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>三重大学医学部附属病院 高度生殖医療センター,  
<sup>2</sup>三重大学大学院 生命医学系研究科 産科婦人科学講座
- P-010 5種の精子密度勾配遠心用試薬による当院での配偶者間人工授精について  
○松井 友香・石田 恵理・辰巳 嵩征・舟木 優子・大岩加穂子・兼子恵理香・浦田 陽子・齊藤 隆和  
国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター
- P-011 遠心により脂肪滴除去したウシ MII 卵への ICSI 後のタイムラプス観察による前核動態とその後の胚発生  
○森下 奈美<sup>1</sup>・越知 正憲<sup>2</sup>・堀内 俊孝<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>おち夢クリニック名古屋先端生殖医学研究所, <sup>2</sup>おち夢クリニック名古屋
- P-012 自施設で調製したカルシウムイオノフォアが培養成績に与える影響  
○桂浦 明秀<sup>1</sup>・中山 要<sup>1</sup>・大野 浩史<sup>1</sup>・後藤 健次<sup>2</sup>・小林 智子<sup>2</sup>・佐藤 加奈<sup>1</sup>・岩下 寿子<sup>1</sup>・木下 孝一<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>木下レディースクリニック, <sup>2</sup>京都 IVF クリニック
- P-013 Piezo-ICSI の成績と分割異常の有無についての検討  
○城戸 京子<sup>1</sup>・渡邊 みあ<sup>1</sup>・野中 宥那<sup>1</sup>・北島 裕葉<sup>1</sup>・杉尾 俊輔<sup>1</sup>・上村慶一郎<sup>1</sup>・金沢衣見子<sup>1</sup>・沖津 撰<sup>3</sup>・中島 章<sup>1</sup>・徳永 義光<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>医療法人杏月会 空の森 KYUSHU, <sup>2</sup>医療法人杏月会 空の森クリニック, <sup>3</sup>楠原ウイメンズクリニック
- P-014 凍結融解胚盤胞移植における各社の高濃度ヒアルロン酸含有胚移植液の有効性の比較  
○五島 まこ・沖津 撰・水野 康平・吉田 昌弘・楠原 淳子・楠原 浩二  
医療法人社団楠原ウイメンズクリニック
- P-015 多核胚の妊孕性についての検討  
○渡辺 瞳・水本 茂利・長尾 洋三・田中 啓子・戸野本知子・奥田紗矢香・鈴木 美緒・小柳 沙織・大坪可奈子・影山 美桜・吉岡 尚美・大塚未砂子・江夏 悠介・深川 大輔・蔵本 武志  
蔵本ウイメンズクリニック
- P-016 胚融解後の培養液は拡張性や臨床成績に影響を与えない  
○奥山麻梨恵・澤井 毅・日下部佳恵・河野紗也加・斎藤 未希・濱田 仁・岡田 叶・大塚恵里菜・両角 和人  
両角レディースクリニック

- P-017 胚盤胞2個移植における多胎妊娠回避にLife Whispererは活用できるか  
 ○田中 梨央・糸井 史陽・森 香菜江・渡邊鈴美香・加藤 麗夏・秋田 真央・中濱 綾菜・鎌田 美佳・服部 幸雄  
 なごや ART クリニック
- P-018 40歳以下におけるPICSII胚とPICSIIにIMSIを併用した胚の凍結単一胚盤胞移植の成績  
 ○八木亜希子・田中 恵美・平山 奈美・齋藤 梓・齊藤 未来・寶柳みゆき・田中 裕香・戸井 千夏・川俣 美帆・小澤 順子・岩見菜々子・山本 貴寛・渡邊 恵理・森若 治・神谷 博文  
 神谷レディースクリニック
- P-019 2波長性電解質インジケーターを用いたマウス胚盤胞内のNaイオン濃度変化の解析  
 ○藤島 綾香・高橋 和政・後藤真由美・岩澤 卓也・藤嶋 明子・白澤 洋光・熊澤由紀代・寺田 幸弘  
 秋田大学産婦人科
- P-020 個別培養とミネラルオイルの導入による胚培養成績の変化  
 ○大和田陽菜<sup>1</sup>・高橋 稜奈<sup>2</sup>・荒田 萌花<sup>1,2</sup>・林 倫子<sup>1</sup>・矢野 祐也<sup>1</sup>・武田明日香<sup>1,2</sup>・湊 沙希<sup>1,2</sup>・山本 由理<sup>1,2</sup>・岩佐 武<sup>1,2</sup>・安井 敏之<sup>1,3</sup>  
<sup>1</sup>徳島大学病院, <sup>2</sup>徳島大学大学院医歯薬学研究部産科婦人科学分野,  
<sup>3</sup>徳島大学大学院医歯薬学研究部生殖・更年期医療学分野
- P-021 当日および前日融解による凍結融解胚の孵化状態と妊娠成績の関係  
 ○高橋 景子・門馬 良恵・中古 聖月・奥津 有夏・永井 敦・永井 泰  
 永井マザーズホスピタル
- P-022 凍結時の拡張胚盤胞の胞胚腔径と融解時の回復培養時間が妊娠率に及ぼす影響  
 ○小泉香穂梨・畠山 将太・遠藤 久誉・長濱 由紀・山口 幸希・谷口 遼馬・石戸谷圭佑・櫻井 雄太・齋藤ひとみ・堀内 順子・黄木 詩麗・矢内原 敦  
 矢内原ウイメンズクリニック
- P-023 当院における卵子凍結の現状  
 ○北詰 麻衣・白岩 優綺・横田 梨恵・古橋 孝祐・岩崎 利郎・岡本 恵理・苔口 昭次・塩谷 雅英  
 英ウイメンズクリニック
- P-024 急速融解法及び従来法における胚盤胞生存率, 胚盤胞回復時間, 収縮回数と比較  
 ○高野 智枝<sup>1,2,3</sup>・石川 瑞紀<sup>1,2,3</sup>・木田 奉代<sup>3</sup>・浅野 有紀<sup>3</sup>・草鹿 桃<sup>3</sup>・中村 嘉孝<sup>1,2,3</sup>  
<sup>1</sup>オーク住吉産婦人科, <sup>2</sup>オーク梅田レディースクリニック, <sup>3</sup>オーク銀座レディースクリニック
- P-025 前核内の核小体分布から異数性胚盤胞を予測できるか  
 ○大島帆乃佳<sup>1,2</sup>・辻 暖永<sup>1,2</sup>・福永 憲隆<sup>1,2</sup>・浅田 義正<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>医療法人浅田レディースクリニック, <sup>2</sup>浅田生殖医療研究所
- P-026 タイムラプスインキュベーターにおけるDish外部取り出し回数が培養成績へ与える影響  
 ○櫻井 裕子<sup>1</sup>・堀金 聖羅<sup>1</sup>・佐藤 学<sup>1,2</sup>・森本 義晴<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>HORAC グランフロント大阪クリニック, <sup>2</sup>IVF なんばクリニック
- P-027 c-IVF 施行後の受精, 臨床成績における夫婦の年齢および精液所見の影響  
 ○名古 満・萩原 桜子・神岡 絵梨・福島 由樹・高橋友里亜・木村真智子・井原 基公・古谷 正敬・石塚 文平  
 ローズレディースクリニック
- P-028 抗セントロメア抗体陽性症例が一回妊娠するために必要な卵子数の検討  
 ○隈河 良江<sup>1,2</sup>・井原 一步<sup>1,2</sup>・野老美紀子<sup>1,2</sup>・福永 憲隆<sup>1,2</sup>・浅田 義正<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>医療法人浅田レディースクリニック, <sup>2</sup>浅田生殖医療研究所
- P-029 胚画像スコアリングシステム「Life Whisperer Viability」の有用性の評価と培養士胚評価との関連性  
 ○榊原 由佳<sup>1</sup>・石川 立<sup>1</sup>・大石 彩加<sup>1</sup>・清水 佑菜<sup>1</sup>・白倉佳那子<sup>1</sup>・吉田 剛大<sup>1</sup>・宮村 知子<sup>1</sup>・川合 優菜<sup>1</sup>・望月 汐美<sup>1</sup>・日野沙也加<sup>1</sup>・宗 修平<sup>1,2</sup>・南波 美沙<sup>1</sup>・宮野奈緒美<sup>1</sup>・村林 奈緒<sup>1,2</sup>・山口若香佐<sup>1</sup>・俵 史子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>俵 IVF クリニック, <sup>2</sup>浜松医科大学大学生殖周産期医学講座

- P-030 当院における Gardner 分類に C 評価を含む胚の臨床成績の検討  
○原田 枝美・河野 康志・山下 由貴・岡本真実子・麻生 咲季・小林 栄仁  
大分大学医学部産科婦人科
- P-031 PGT-A Program における Embryo Plasty の有効性  
○後藤 優介・原田 祐紀・戸水 桐子・寄田 朋子・永井 徹・和田 龍・向田 哲規  
広島 HART クリニック
- P-032 凍結融解胚移植後の流産と子宮内細菌叢の関連性について  
○長谷川麻理<sup>1</sup>・伊木朱有美<sup>1</sup>・河知 美佳<sup>1</sup>・川野 広大<sup>1</sup>・野手 健造<sup>1</sup>・坂井 和貴<sup>1</sup>・杉野 明香<sup>2</sup>・田中 克<sup>2</sup>・  
荒井 渉<sup>2</sup>・芦川 享大<sup>2</sup>・嶋田 美穂<sup>2</sup>・鍋田 基生<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>つばきウイメンズクリニック, <sup>2</sup>Varinos 株式会社
- P-033 ART のためのミネラルオイル不使用の体内環境模擬 Microfluidic dish の開発  
○水野 仁二<sup>1</sup>・丸本孝太郎<sup>1</sup>・佐野 友也<sup>1</sup>・金子 弘行<sup>1</sup>・村山 嘉延<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>株式会社ナガヨシ ART 製品研究開発, <sup>2</sup>日本大学 工学部
- P-034 体外受精 (cIVF) 時の精液所見不良例に対する 2 回目採精の有効性  
○山口 葉子・湯本啓太郎・杉嶋美奈子・川本実乃里・志村 陶子・田邊 望美・TsounapiPanagiota・  
桑田日佳里・見尾 保幸  
医療法人社団 ミオ・ファティリテイ・クリニック
- P-035 室内飼育下カニクイザルの排卵, 交尾, 妊娠成立データの解析  
○小原 実穂・サビツカエディタ・山海 直  
国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 霊長類医科学研究センター
- P-036 不妊治療の保険適用化以降, 当院において治療を受けている患者様から頻繁にあった要望・クレームとそれ  
に対する対策と取り組み～22 年と 23 年の比較～  
○渡邊沙央里・川又絵玲奈・岩瀬 夢・川口優太郎・金谷真由子・賀来 哲明・賀来 宗明・藤原 敏博  
医療法人社団 鳳凰会 フェニックスアートクリニック
- P-037 2 種類の Single step medium を用いた胚培養成績の比較検討  
○松山依里子<sup>1</sup>・石川 珠帆<sup>1</sup>・及川 彰太<sup>1</sup>・古川 博<sup>1</sup>・小林 達也<sup>2</sup>・樋口 香子<sup>2</sup>・伊藤 弘康<sup>1</sup>・宮村 浩徳<sup>3</sup>・  
西尾 永司<sup>3</sup>・西澤 春紀<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>藤田医科大学病院 臨床検査部, <sup>2</sup>藤田医科大学東京 リプロダクションセンター,  
<sup>3</sup>藤田医科大学病院 産科・婦人科
- P-038 オーク会における ART 遠隔医療の進め方とその治療成績  
○高野 智枝<sup>1,2,3</sup>・石川 瑞紀<sup>1,2,3</sup>・垣井 麻莉<sup>1</sup>・鈴木 教郎<sup>1</sup>・奥平 裕一<sup>1</sup>・中村 嘉孝<sup>1,2,3</sup>  
<sup>1</sup>オーク住吉産婦人科, <sup>2</sup>オーク梅田レディースクリニック, <sup>3</sup>オーク銀座レディースクリニック